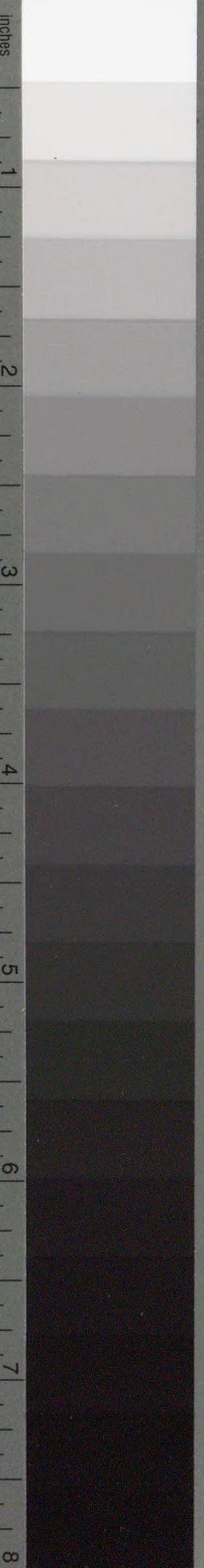


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

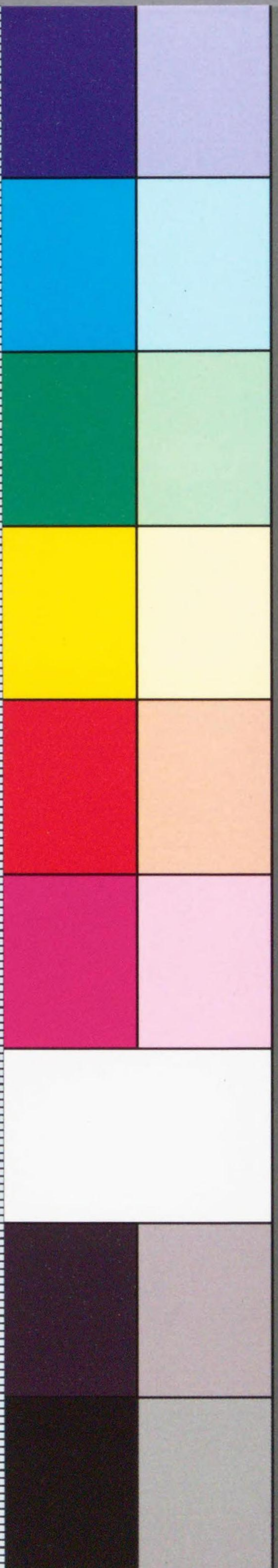


Inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 11 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 12 10

6710
14

No. 2



C4-H4
1200600091185

海事ニ關スル國際勞働條約集

遞信省管船局

C4-H4



I 種
W



1200600091185

緒言

本書ヲ印刷ニ附シタルハ閱覽及執務ノ便宜上筆寫
ニ代ヘタルニ止マリテ敢テ之ヲ公刊スルノ趣旨ニ
アラス

遞信省管船局海員課

ニ升ヘスルニ由マリテ進テ之ヲ公財スルノ趣旨ニ
本書マデ附屬ニ附シタルハ、同書又、海員ノ地位上、海員

海員

目次

千九百二十年第二回國際勞働總會ニ於テ採擇セラレタル條約案
勸告及決議

- 漁業ニ於ケル勞働時間ノ制限ニ關スル勸告……………一
- 内水航行ニ於ケル勞働時間制限ニ關スル勸告……………三
- 國內海員法典作成ニ關スル勸告……………七
- 海上ニ使用シ得ル兒童ノ最低年齢ヲ定ムル條約案……………九
- 海員ノ失業保險ニ關スル勸告……………一三
- 船舶ノ滅失又ハ沈没ノ場合ニ於ケル失業ノ補償ニ關スル條約案……………一五
- 海員ニ對スル職業紹介所設置ニ關スル條約案……………二一
- 海員ノ失業保險ニ關スル決議案……………二九
- 船内ニ於ケル勞働時間ヲ制限スル條約案(不採擇)……………三一
- 國際海員法典制定ノ進捗ニ關スル決議……………三九

海員雇入契約ニ關スル決議	四一
花柳病豫防ニ關スル決議	四三
海員養成ニ關スル決議	四五
次期總會ノ議題ニ關スル決議	四七
千九百二十一年第三回國際勞動總會ニ於テ採擇セラレタル條約案	四九
石炭夫又ハ火夫トシテ使用シ得ル年少者ノ最低年齢ヲ定ムル條約案	四九
海上ニ使用セラルル兒童及年少者ノ強制體格検査ニ關スル條約案	五五
千九百二十六年第八回國際勞動總會ニ於テ採擇セラレタル條約案及勸告	五九
船中ニ於ケル移民監督ノ單純化ニ關スル條約案	五九
船中ニ於ケル移民タル婦人及少女ノ保護ニ關スル勸告	六五
千九百二十六年第九回國際勞動總會ニ於テ採擇セラレタル條約案、勸告及決議	六七

海員ノ雇入契約ニ關スル條約案	六七
海員ノ送還ニ關スル條約案	七九
船長及見習ノ送還ニ關スル勸告	八五
海員ノ勞動狀態ノ監督ニ付テノ一般原則ニ關スル勸告	八七
漁夫ノ送還ニ關スル決議	九七
採海漁船乗組員ニ關スル決議	九九
海綿採取業従業者等ニ關スル決議	一〇一
港内ニ於ケル海員ノ福利ニ關スル決議	一〇三

附 錄

同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約勞動編	一
勞動總會議事規則	二五
國際勞動機關ノ締盟國	四六
勞動理事會ノ構成	四八

工業的企業ノ労働時間ノ制限ニ對スル海員ニ適用スル其他ノ採擇案ノ其

國際労働機關ノ總會ノ召集

千九百二十年第二回國際労働總會ニ於テ採擇セラレタル條約案、勸告及決議

漁業ニ於ケル労働時間ノ制限ニ關スル勸告

國際聯盟ノ國際労働機關ノ總會ハ

國際労働事務局ノ理事會ニ依リ千九百二十年六月十五日「ゼノア」ニ召集セラレ

右「ゼノア」總會ノ會議事項ノ第一項目タル「一切ノ工業的企業（海ニ依ル運送及將來決定セラレヘキ條件ノ下ニ内地水路ニ依ル運送ヲ含ム）ニ於ケル労働時間ヲ一日八時間且一週四十八時間ニ制限スル客年十一月華盛頓ニ於テ作成セラレタル條約ノ海員ニ對スル適用、之カ乘組定員ニ付竝船内ノ設備及衛生ニ關スル規定ニ付及ホスヘキ影響」ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且該提案ハ勸告ノ形式ニ依ルヘキモノナルコトヲ決定シ

國際労働機關ノ締盟國ヲシテ立法其ノ他ノ方法ニ依リ之カ實現ヲ爲サシムル目的ヲ以テ考慮セシムル爲千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約、千九百十九年九月十日ノ「サン、ジェルマン」條

約、千九百十九年十一月二十七日ノ「ヌイイ」條約及千九百二十年六月四日ノ「グラン、トリアノン」條約ノ労働編ノ規定ニ從ヒ左ノ勸告ヲ採擇ス

一切ノ産業國中「一日八時間又ハ一週四十八時間ノ制ヲ實行スルニ至ラサル諸國ニ於テハ其ノ到達ノ目標トシテ」各自ノ特殊事情ノ許ス限リ其ノ制ノ採用ニカムヘキ旨ノ右平和諸條約中ノ宣言ニ鑑ミ國際労働總會ハ國際労働機關ノ各締盟國カ漁業ニ使用セラルル一切ノ労働者ノ労働時間ヲ右ノ趣旨ニ於テ制限スルノ法制ヲ制定スルコト（該法制ノ制定ニハ各國ニ於ケル漁業ノ特殊狀況ニ適合セシムル爲必要ナル特別規定ヲ設クルコトヲ妨ケス）及右法制ノ制定ニ付各國政府ハ關係アル使用者團體及労働者團體ト協議スルコトヲ勸告ス

内水航行ニ於ケル労働時間制限ニ關スル勸告

國際聯盟ノ國際労働機關ノ總會ハ

國際労働事務局ノ理事會ニ依リ千九百二十年六月十五日「ゼノア」ニ召集セラレ

右「ゼノア」總會ノ會議事項ノ第一項目タル「一切ノ工業的企業（海ニ依ル運送及將來決定セラレヘキ條件ノ下ニ内地水路ニ依ル運送ヲ含ム）ニ於ケル労働時間ヲ一日八時間且一週四十八時間ニ制限スル客年十一月華盛頓ニ於テ作成セラレタル條約ノ海員ニ對スル適用、之カ乗組定員ニ付並船内ノ設備及衛生ニ關スル規定ニ付及ホスヘキ影響」ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且該提案ハ勸告ノ形式ニ依ルヘキモノナルコトヲ決定シ

國際労働機關ノ締盟國ヲシテ立法其ノ他ノ方法ニ依リ之カ實現ヲ爲サシムル目的ヲ以テ考慮セシムル爲千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約、千九百十九年九月十日ノ「サン、ジェルマン」條約、千九百十九年十一月二十七日ノ「ヌイイ」條約及千九百二十年六月四日ノ「グラン、トリアノン」條約ノ労働編ノ規定ニ從ヒ左ノ勸告ヲ採擇ス

一切ノ産業國中「一日八時間又ハ一週四十八時間ノ制ヲ實行スルニ至ラサル諸國ニ於テハ其ノ到達ノ

目標トシテ」各自ノ特殊事情ノ許ス限リ其ノ制ノ採用ニカムヘキ旨ノ右平和諸條約中ノ宣言ニ鑑ミ國
際労働總會ハ左ノ通勸告ス

第一

内水航行ニ於ケル労働時間ノ制限ニ關スル法制定

國際労働機關ノ各締盟國ハ内水航行ニ使用セラルル労働者ノ労働時間ヲ平和諸條約中ノ前記宣言ノ趣旨ニ於テ制限スル法制ヲ未タ設ケサルトキハ其ノ法制ヲ制定スヘキコト但シ該法制ノ制定ニハ當該國ニ於ケル内水航行ニ特殊ナル氣候上及産業上ノ狀況ニ適合セシムル爲必要ナル特別規定ヲ設クルコトヲ妨ケス且關係アル使用者團體及労働者團體トノ協議ヲ經ヘキモノトス

第二

國際可航水路沿岸ノ義務

國際労働機關ノ締盟國ニシテ其ノ版圖カ右諸國ノ船舶ノ共ニ利用スル水路ノ沿岸タルモノハ右水路ニ於ケル内水航行ニ使用セラルル者ノ労働時間ヲ前記宣言ノ趣旨ニ於テ制限スル爲關係アル使用者團體及労働者團體ト協議ノ上取極ヲ爲スヘキコト

第三

前記國內法制及沿岸取極ノ依

前記ノ國內法制及沿岸國間ノ取極ハ華盛頓國際労働總會ニ依リ採擇セラレタル労働時間ニ關スル條約案ノ一般原則ニ能フ限リ從フヘキコト但シ關係國ノ氣候其ノ他ノ特殊狀況ニ適合セシムルニ必要ナル

ルヘキ原則

例外ヲ設クルコトヲ妨ケス

第四

内水航行ト海洋航行トノ區別

本勸告ノ適用ニ付國際労働機關ノ各締盟國ハ内水航行ト海洋航行トノ區別ヲ關係アル使用者團體及労働者團體ト協議ノ上各自決定スヘク且其ノ決定ヲ國際労働事務局ニ通告スヘキコト

第五

本勸告ニ對スル措置ノ報告

國際労働機關ノ各締盟國ハ本勸告ノ趣旨ニ從ヒ執リタル措置ヲ「ゼノア」總會閉會後二年内ニ國際労働事務局ニ報告スヘキコト

國際勞働
機關ノ總
會ノ招集

國際海員
法典作成
ノ能否ノ
調査ニ關
スル提案
ノ採擇

内外船舶
ニ使用セ
ラルル海
員ノ權利
義務ニ付
テノ一層

國內海員法典作成ニ關スル勸告

國際聯盟ノ國際勞働機關ノ總會ハ

國際勞働事務局ノ理事會ニ依リ千九百二十年六月十五日「ゼノア」ニ招集セラレ

右「ゼノア」總會ノ會議事項ノ第四項目タル「國際海員法典作成ノ能否ノ調査」ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ勸告ノ形式ニ依ルヘキモノナルコトヲ決定シ

國際勞働機關ノ締盟國ヲシテ立法其ノ他ノ方法ニ依リ之カ實現ヲ爲サシムル目的ヲ以テ考慮セシムル爲千九百十九年六月二十八日ノ「ジェルサイユ」條約、千九百十九年九月十日ノ「サン、ジェルマン」條約、千九百十九年十一月二十七日ノ「ヌイイー」條約及千九百二十年六月四日ノ「グラン、トリアノ」條約ノ勞働編ノ規定ニ從ヒ左ノ勸告ヲ採擇ス

各國ノ國內法ノ明確且組織のナル法典編纂ニ依リ世界ノ海員ヲシテ自他何レノ國ノ船舶ニ使用セラルルヲ問ハス其ノ權利及義務ニ付一層良好ナル理解ヲ得シムル爲又國際海員法典作成ノ事業ヲ進捗セシメ且容易ナラシムル爲國際勞働總會ハ國際勞働機關ノ各締盟國カ海員ニ特殊ナル其ノ一切ノ法令規則

十四歳未
満児童ノ
労働禁止

第十四条 十四歳未満ノ児童ハ同一ノ家ニ屬スル者ノミヲ使用スル船舶ヲ除クノ外船舶ニ於テ使用セラレ又ハ労働スルコトヲ得ス

第三條

第二條ノ規定ハ學校船又ハ練習船ニ於ケル児童ノ爲ス労働ニ之ヲ適用セス但シ此ノ種ノ労働ハ公ノ機關ノ承認ヲ得且其ノ監督ヲ受クヘキモノトス

第四條

本條約ノ規定ノ實行ヲ容易ナラシムル爲各船長ハ其ノ船舶ニ於テ使用スル十六歳未満ノ一切ノ者及其ノ出生ノ日ヲ記載シタル帳簿又ハ海員名簿ヲ備附クルコトヲ要ス

第五條

本條約ヲ批准スル國際労働機關ノ各締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ左ノ條件ノ下ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

(イ) 其ノ規定カ土地ノ狀況ニ照シ適用不可能ニ非サルコト

(ロ) 其ノ規定ヲ土地ノ狀況ニ適應セシムル爲必要ナル變更ヲ加フルコト

十六歳未
満ノ者ニ
關スル帳
簿又ハ海
員名簿ノ
備附

殖民地、
保護國及
屬地ニ對
スル適用
條件

批准、登
録

各締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ付其ノ執リタル措置ヲ國際労働事務局ニ通告スヘシ

第六條

千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約、千九百十九年九月十日ノ「サン、ジェルマン」條約、千九百十九年十一月二十七日ノ「ヌイイー」條約及千九百二十年六月四日ノ「グラン、トリアン」條約ノ第十三編ニ定ムル條件ニ依ル本條約ノ正式批准ハ登録ノ爲國際聯盟事務總長ニ之ヲ通告スヘシ

第七條

國際労働機關ノ締盟國中ノ二國カ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登録ヲ爲シタルトキハ事務總長ハ國際労働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スヘシ

第八條

本條約ハ國際聯盟事務總長カ前條ノ通告ヲ發シタル日ヨリ效力ヲ發生スヘク且該事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノトス

效力發生
時期

批准登録
ノ通告

實施、措
置

第九條
本條約ヲ批准スル各締盟國ハ千九百二十二年七月一日迄ニ其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必
要ナルヘキ措置ヲ執ルコトヲ約ス尤モ第八條ノ規定ニ從フモノトス

第十條

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ十年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務
總長宛登錄ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登錄アリタル日以後一
年間ハ其ノ效力ヲ生セス

第十一條

國際勞働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スヘク且其ノ
改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ掲クヘキヤ否ヤヲ審議スヘシ
第十二條
本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

正文

理事會ノ
義務

廢棄

海員ノ失業保險ニ關スル勸告

國際聯盟ノ國際勞働機關ノ總會ハ

國際勞働事務局ノ理事會ニ依リ千九百二十年六月十五日「ゼノア」ニ招集セラレ

右「ゼノア」總會ノ會議事項ノ第二項目タル「雇入契約ノ監督、海員ニ對スル職業紹介、客年十一月
華盛頓ニ於テ採擇セラレタル失業及失業保險ニ關スル條約及勸告ノ海員ニ對スル適用」ニ關スル提
案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ勸告ノ形式ニ依ルヘキモノナルコトヲ決定シ

國際勞働機關ノ締盟國ヲシテ立法其ノ他ノ方法ニ依リ之カ實現ヲ爲サシムル目的ヲ以テ考慮セシムル
爲千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約、千九百十九年九月十日ノ「サン、ジエルマン」
條約、千九百十九年十一月二十七日ノ「スイイ」條約及千九百二十年六月四日ノ「グラン、トリア
ノン」條約ノ勞働編ノ規定ニ從ヒ左ノ勸告ヲ採擇ス

總會ハ千九百十九年十一月二十八日華盛頓ニ於テ採擇セラレタル失業ニ關スル勸告第三ノ海員ニ對ス
ル適用ヲ確保スル目的ヲ以テ國際勞働機關ノ各締盟國カ官營保險ノ方法ニ依ルカ又ハ失業セル團體員

國際勞働
機關ノ總
會ノ招集
雇入契約
ノ監督、
海員ニ對
スル職業
紹介、失
業及失業
保險ニ關
スル條約
及勸告ノ
採擇案

船舶難破
其ノ他ノ
事由ニ基
ク失業ニ

ニ對スル利益ノ支拂ヲ定ムル規則ヲ有スル産業團體ニ對シ政府ヨリ補助ヲ與フルノ方法ニ依リ船舶難
破其ノ他ノ事由ニ基ク失業ニ對シ有效ナル保險制度ヲ海員ノ爲ニ設クヘキコトヲ勸告ス

船舶ノ滅失又ハ沈没ノ場合ニ於ケル失業ノ補償ニ關ス ル條約案

前文

國際聯盟ノ國際勞働機關ノ總會ハ

國際勞働事務局ノ理事會ニ依リ千九百二十年六月十五日「ゼノア」ニ招集セラレ

右「ゼノア」總會ノ會議事項ノ第二項目タル「雇入契約ノ監督、海員ニ對スル職業紹介、客年十一
月華盛頓ニ於テ採擇セラレタル失業及失業保險ニ關スル條約及勸告ノ海員ニ對スル適用」ニ關スル
提案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ國際條約案ノ形式ニ依ルヘキモノナルコトヲ決定シ

國際勞働機關ノ締盟國ニ依リ批准セラルルカ爲千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約、
千九百十九年九月十日ノ「サン、ジェルマン」條約、千九百十九年十一月二十七日ノ「ヌイイー」條
約及千九百二十年六月四日ノ「グラン、トリアノン」條約ノ勞働編ノ規定ニ從ヒ左ノ條約案ヲ採擇
ス

第一條

海員ノ定
義
船舶ノ定
義

本條約ニ於テ「海員」ト稱スルハ海洋航行ニ從事スル船舶ニ使用セララル一切ノ者ヲ包含ス
本條約ニ於テ「船舶」ト稱スルハ其ノ公有タルト私有タルトヲ問ハス海洋航行ニ從事スル各種ノ船舶
舟艇ヲ總テ包含ス但シ軍艦ハ之ヲ除ク

第二條

海員ヘ補
償金ノ支
拂

船舶ノ滅失又ハ沈没ノ場合ニ於テハ船舶所有者其ノ他ノ者ニシテ海員カ之ト船舶内ノ服役ヲ契約シタ
ルモノハ當該船舶ノ滅失又ハ沈没ヨリ生スル失業ニ對シ右船舶ニ使用セラレタル各海員ニ補償金ヲ支
拂フヘシ

支拂條件

右ノ補償金ハ契約ニ依リ支拂ハルヘキ賃銀ト同率ヲ以テ海員實際ノ失業中ノ日數ニ付之ヲ支拂フヘ
シ尤モ一人ノ海員ニ對シ本條約ニ基キ支拂ハルヘキ全補償金額ハ二月分ノ賃銀ニ之ヲ制限スルコト
ヲ得

第三條

救濟

海員ハ右補償金ノ請求ニ付テハ其ノ服役期間ニ對スル賃銀ノ延滞額ノ請求ニ付有スルト同一ノ救濟ヲ
有スヘシ

第四條

殖民地、
保護國及
屬地ニ對
スル適用
條件

本條約ヲ批准スル國際労働機關ノ各締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セザ
ルモノニ左ノ條件ノ下ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

(イ) 其ノ規定カ土地ノ狀況ニ照シ適用不可能ニ非サルコト

(ロ) 其ノ規定ヲ土地ノ狀況ニ適應セシムル爲必要ナル變更ヲ加フルコト

各締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ付其ノ執リタル措置ヲ國
際労働事務局ニ通告スヘシ

第五條

批准、登
録

千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約、千九百十九年九月十日ノ「サン、ジェルマン」條
約、千九百十九年十一月二十七日ノ「ヌイイ」條約及千九百二十年六月四日ノ「グラン、トリア
ン」條約ノ第十三編ニ定ムル條件ニ依ル本條約ノ正式批准ハ登録ノ爲國際聯盟事務總長ニ之ヲ通告
スヘシ

第六條

國際労働機關ノ締盟國中ノ二國カ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登録ヲ爲シタルトキハ事務總長ハ
國際労働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スヘシ

批准登録
ノ通告

第七條

效力發生時期

本條約ハ國際聯盟事務總長カ前條ノ通告ヲ發シタル日ヨリ效力ヲ發生スヘク且該事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登錄シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノトス

第八條

實施、措置

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ千九百二十二年七月一日迄ニ其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルヘキ措置ヲ執ルコトヲ約ス尤モ第七條ノ規定ニ從フモノトス

第九條

廢棄

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ五年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務總長宛登錄ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登錄アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生セス

第十條

理事會ノ義務

國際勞動事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スヘク且其ノ改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ掲クヘキヤ否ヤヲ審議スヘシ

第十一條

正文

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

國際聯盟ノ國際労働機關ノ總會ハ

海員ニ對スル職業紹介所設置ニ關スル條約案

國際労働事務局ノ理事會ニ依リ千九百二十年六月十五日「ゼノア」ニ招集セラレ
 右「ゼノア」總會ノ會議事項ノ第二項目タル「雇入契約ノ監督、海員ニ對スル職業紹介、客年十一月華盛頓ニ於テ採擇セラレタル失業及失業保險ニ關スル條約及勸告ノ海員ニ對スル適用」ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ國際條約案ノ形式ニ依ルヘキモノナルコトヲ決定シ

國際労働機關ノ締盟國ニ依リ批准セラルルカ爲千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約、千九百十九年九月十日ノ「サン、ジェルマン」條約、千九百十九年十一月二十七日ノ「ヌイイー」條約及千九百二十年六月四日ノ「グラン、トリアノン」條約ノ労働編ノ規定ニ從ヒ左ノ條約案ヲ採擇ス

第一條

本條約ニ於テ「海員」ト稱スルハ海洋航行ニ従事スル船舶ノ乗組員トシテ使用セラルル一切ノ者ヲ包

職業紹介
ノ無料ナ
トルヘキコ

含ス但シ職員ハ之ヲ除ク

第二條

海員ニ對スル職業紹介業ハ個人、會社其ノ他ノ紹介所ニ依リ營利ヲ目的トスル業務トシテ經營セラルルコトヲ得ス又個人、會社其ノ他ノ紹介所ハ船舶ノ海員ノ職業紹介ニ付直接ニ又ハ間接ニ何等ノ手数料ヲ課スルコトヲ得ス

各國ハ法令ヲ以テ本條ノ規定ノ違反ニ對スル罰則ヲ定ムヘシ

第三條

營利ヲ目的トスル業務トシテ海員ノ職業紹介業ヲ現ニ經營スル個人、會社其ノ他ノ紹介所ハ第二條ノ規定ニ拘ラス政府ノ免許ノ下ニ其ノ業務ヲ一時繼續スルコトヲ得但シ右ノ事業ハ一切ノ關係人ノ權利ヲ保護スル爲政府ノ監督ノ下ニ經營セラルルモノトス

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ營利ヲ目的トスル業務タル海員職業紹介業ヲ能フ限り速ニ廢止スル爲實行シ得ヘキ一切ノ措置ヲ執ルコトヲ約ス

第四條

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ海員ニ對スル公ノ無料職業紹介所ノ有效且適切ナル制度ヲ組織シ且維持

公設無料

有料職業
紹介所ニ
對スル處

職業紹介
所ノ設立

スヘキコトヲ約ス右ノ制度ハ

(一) 中央官廳ノ監督ノ下ニ協同スル船舶所有者及海員ノ代表團體ニ依リ又ハ

(二) 右ノ協同行爲ナキトキハ國自身ニ依リ

組織シ且維持セラルルコトヲ得

一切ノ右職業紹介所ノ事業ハ海事ノ實地經驗ヲ有スル者ニ依リ管理セラルヘシ

右ノ各種ノ職業紹介所併存スル場合ニ於テハ國ノ基底ニ於テ之ヲ調整スル爲ノ措置ヲ執ルヘシ

第五條

前記紹介所ノ經營ニ關スル事項ニ付助言セシムル爲船舶所有者及海員ノ同數ノ代表者ヨリ成ル委員會ヲ組織スヘシ各國政府ハ右委員會ノ權能ヲ明確ニスル爲殊ニ右ノ委員外ヨリノ議長ノ選定、國ノ監督ノ程度及右委員會カ海員ノ幸福ニ付利害關係ヲ有スル者ヨリ得ヘキ助力ニ關シ規定ヲ設クルコトヲ得

諮問委員
會ノ設置

右紹介所
ノ管理
右紹介所
併存ノ場
合ノ調整

第六條

海員ノ職業紹介ニ關シ海員ハ船舶選擇ノ自由ヲ確保セラルヘク船舶所有者ハ乗組員選擇ノ自由ヲ確保セラルヘシ

船舶選擇
ノ自由
乗組員選
擇ノ自由

第七條

雇入契約中ニハ一切ノ關係當事者ヲ保護スルカ爲必要ナル保障ヲ包含スヘク且海員ハ署名ノ前及後ニ於テ右契約ヲ査閲スル爲相當ノ便宜ヲ確保セラルヘシ

第八條

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ本條約ヲ批准シタル一切ノ國ニシテ其ノ産業狀態ノ略同様ナルモノニ屬スル海員ヲシテ本條約所定ノ海員職業紹介施設ヲ（必要アルトキハ官公署ヲ介シテ）利用セシムル爲ノ措置ヲ執ルヘシ

第九條

各國ハ甲板部職員及機關部職員ニ關シ本條約ノ規定ト同様ノ規定ヲ採用スルヤ否ヤヲ各自決定スヘシ

第十條

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ海員ノ失業及職業紹介所ノ事業ニ關スル統計其ノ他ノ調達シ得ヘキ一切ノ情報ヲ國際勞働事務局ニ通告スヘシ

措置ヲ執ルヘシ

第十一條

本條約ヲ批准スル國際勞働機關ノ各締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ左ノ條件ノ下ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

(イ) 其ノ規定カ土地ノ狀況ニ照シ適用不可能ニ非サルコト

(ロ) 其ノ規定ヲ土地ノ狀況ニ適應セシムル爲必要ナル變更ヲ加フルコト

各締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ付其ノ執リタル措置ヲ國際勞働事務局ニ通告スヘシ

第十二條

千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約、千九百十九年九月十日ノ「サン、ジェルマン」條約、千九百十九年十一月二十七日ノ「ヌイイー」條約及千九百二十年六月四日ノ「グラン、トリアノ」條約ノ第十三編ニ定ムル條件ニ依ル本條約ノ正式批准ハ登録ノ爲國際聯盟事務總長ニ之ヲ通告スヘシ

第十三條

批准登録
ノ通告

國際労働機關ノ締盟國中ノ二國カ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登録ヲ爲シタルトキハ事務總長ハ國際労働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スヘシ

第十四條

效力發生
時期

本條約ハ國際聯盟事務局總長カ前條ノ通告ヲ發シタル日ヨリ效力ヲ發生スヘク且該事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノトス

第十五條

實施、措
置

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ千九百二十二年七月一日迄ニ其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルヘキ措置ヲ執ルコトヲ約ス尤モ第十四條ノ規定ニ從フモノトス

第十六條

廢
棄

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ五年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務局總長宛登録ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登録アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生セス

第十七條

理事會ノ
義務

國際労働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スヘク且其ノ改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ掲クヘキヤ否ヤヲ審議スヘシ

第十八條

正
文

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

一、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 二、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 三、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 四、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 五、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 六、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 七、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 八、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 九、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十一、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十二、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十三、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十四、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十五、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十六、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十七、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十八、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十九、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 二十、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由

海員ノ失業保險ニ關スル決議案

總會ハ茲ニ聯合委員會ニ於テ海員ノ失業ニ對スル保險制ノ問題ヲ調査スヘキコトヲ決議ス
 右目的ノ爲ニハ該委員會ハ華盛頓會議ノ決議ニ基ク國際労働事務局ニ依リ設置セラレタル失業ニ關ス
 ル特別委員會ニ依リ助力セララルヘキモノトス

一、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 二、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 三、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 四、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 五、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 六、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 七、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 八、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 九、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十一、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十二、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十三、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十四、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十五、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十六、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十七、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十八、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 十九、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由
 二十、本締結書は、一九二二年七月一日迄、其ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ官報スルニ由

本日の議案は、華盛頓會議の決議に基き、國際労働事務局の報告に對し、特別委員の報告に對し、及、大業ニ關スル聯合委員會の報告に對し、海員ノ大業ニ關スル特別委員ノ問題ニ關シテ、調査スヘキコトヲ決定ス

海員ノ大業ニ關スル決議案

船内ニ於ケル労働時間ヲ制限スル條約案 (採擇ニ至ラス)

國際聯盟ニ屬スル國際労働機關ノ總會ハ

國際労働事務局ノ理事會ニ依リ千九百二十年六月十五日「ゼノア」ニ招集セラレ

右「ゼノア」總會ノ會議事項ノ第一項目タル「客年十一月華盛頓ニ於テ成案ニ係ル一切ノ工事的企業(海上運送及將來定メラルヘキ條件ノ下ニ内地水路ニ依ル運送ヲ含ム)ニ於ケル労働時間ヲ一日八時間以上一週四十八時間ニ制限スル條約ノ海員ニ對スル適用及其ノ結果トシテ乗組定員並船内ノ設備及衛生ニ關スルノ規定ニ付生スヘキ影響」ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且該提案ハ之ヲ國際條約案ノ形式ト爲スヘキモノナルコトヲ決定シタル上

國際労働機關ノ締盟國ニ依リ批准セラル、カ爲千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約、千九百十九年九月十日ノ「サン・ジェルマン」條約、千九百十九年十一月二十八日ノ「ヌイリ」條約及千九百二十年六月四日ノ「グラン・トリアノン」條約ノ労働編ノ規定ニ從ヒ左ノ條約案ヲ採擇ス
一切ノ産業國ニシテ未タ一日八時間又ハ一週四十八時間制ノ採用ニ至ラサルモノハ自國ノ特殊ノ事情ノ許ス限リ其ノ到達ノ目標トシテ該時間制ノ採用ニカムヘキ旨ノ千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェル

「サイユ」條約中ノ宣言ニ鑑ミ且右宣言ハ海員ニ適用セラルヘキモノト認メ國際勞働總會ハ次ノ條約案ヲ採擇ス

本條約ニ於テ

(イ) 勞働時間トハ實際ノ勞働時間即チ船内ノ者カ自己ノ常用室トセラレタル部分以外ニ於テ船長

ノ命令ノ下ニ職務ニ従事スル時間ノミヲ謂フ

(ロ) 船舶トハ軍艦ヲ除クノ外船舶ノ種類ニ拘ラス公有ト私有トニ關セス又商業ニ使用セラル、ト

技術教育其ノ他ノ目的ニ使用セラル、トヲ問ハス海洋航海ニ従事スル一切ノ船舶ヲ謂フ

(ハ) 國際勞働機關ノ各締盟國ハ其ノ内水航行ト海洋航海トノ區別ヲ自カラ決定スヘク且其ノ決定

ヲ國際勞働事務局ニ通告スヘシ

第二條

船長及當直ヲ爲ササル監督職員ヲ除クノ外船内ニ使用セラル、一切ノ者ノ勞働時間ハ國籍又ハ人種ノ區別ナク一日八時間若ハ一週四十八時間又ハ一週以外ノ期間ニ付一日八時間若ハ一週四十八時間ヲ超過セサル限度ニ制限セラルヘシ尤モ以下各條ニ定ムル規定及例外ニ從フモノトス

第三條

總噸數二千噸及其ノ以上ノ機械力ヲ以テ運航スル船舶ニ於ケル航海中ノ勞働時間ハ各階級ヲ通シテ一週四十八時間ヲ超過スヘカラス乗組員ニ對シ七日ニ付一日ノ休暇ヲ與フル爲定員外人員ヲ乗組マシメタル場合ヲ除クノ外日曜日ノ勞働ハ之ニ對シ補償的ノ休暇又ハ報酬ヲ受クル乗組員ニ依リテ續行セラ

ルヘシ
右ノ船舶ニ於テ其ノ碇泊中ニ於ケル各階級ノ勞働時間ハ一週四十八時間ヲ、既ニ之ヨリモ短キ時間ヲ實施セルモノニ在リテハ右ノ時間ヲ超過スヘカラス尤モ各國カ碇泊中ノ自國船舶ニ於ケル勞働時間ヲ制限スル爲制定スルコトアルヘキ規定ニ從フモノトス但シ右ノ規定ハ千九百十九年十一月ノ華盛頓國際勞働總會採擇ノ勞働時間ニ關スル條約案ニ於テ陸上ノ工業ニ付定メラル、ヨリモ長キ勞働時間ヲ許ササルモノトス

入出港ノ日其ノ他必要ノ場合ニ於テ船長ニ依リ命セラルルコトアルヘキ時間外勞働ハ本條約第八條イ號ニ掲クル事情ニ基キ命セラル、時間外勞働ヲ除クノ外一週十四時間又ハ一月六十時間ヲ超過スルコトヲ得ス超過勞働時間ニ對シテハ報酬ヲ支拂ヒ又ハ補償ノ休暇ヲ與フヘシ

此ノ種船舶ニ於テ甲板部員及機關部員ニ付勞働ノ性質上當直ニ依ル勞働制ヲ必要トスル場合ニ在リテ

ハ三當直制ヲ實行スヘシ

第四條

總噸數二千噸及其ノ以上ノ機械力ヲ以テ運航スル船舶ニ付本條約ニ定メタル原則ヲ適用スルノ方法ハ各國ニ於ケル船舶所有者ノ團體及海員ノ團體ニ協議ノ上制定セラル、法規ニ依リ定メラルヘシ

第五條

第三條ニ掲クル船舶以外ノ他ノ一切ノ種類ノ船舶ニ於ケル労働時間ニ關スル規定ハ船舶所有者團體及海員團體ニ協議ノ上之ヲ制定スヘク且事情ノ許ス限リ第三條ニ依リ總噸數二千噸及其ノ以上ノ機械力ヲ以テ運行スル船舶ニ適用セラルヘキ原則ト同一原則ニ依ルヘシ

第六條

印度人海員ノ労働時間ニ關スル規定ハ船舶所有者團體ト印度人海員團體トニ協議ノ上之ヲ制定スヘク右規定ニハ印度人海員ノ現在ノ労働時間ノ短縮ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第七條

船内服務ヲ目的トスル雇入契約書ニハ必ス労働時間ニ關スル記載ヲ爲スヘク右記載ハ契約書ノ必要事項ヲ成スヘキモノトス

各國ハ其ノ法律ニ依リ契約書中ノ前記事項ノ實行セラレサル場合ニ於テ海員ニ於テ其ノ救済ヲ求ムル爲船長又ハ船舶所有者ニ對シ訴訟ヲ提起シ得ルコトヲ規定スヘシ

第八條

(イ) 本條約ニ定ムル労働時間ノ制限ハ左ノ場合ニ於テハ船長ノ單獨ノ判斷ニ依リ之ヲ超過スルコトヲ得

(一) 船内ニ於ケル人命又ハ船舶ノ安全カ濃霧、坐礁、火災其ノ他ノ事變ニ因リ危險ニ瀕スルトキ

(二) 他ノ船舶救助ノ爲又ハ人命救助ノ目的ノ爲必要ナルトキ

(ロ) 本條約ニ定ムル労働時間ノ制限ハ船舶ノ乗組員ハ航海中病氣、傷害其ノ他ノ事故ニ因リ減少シ直ニ他ノ海員ノ雇入ニ依リ補充セラル、コト能ハサル場合ニ於テ亦之ヲ超過スルコトヲ得

第九條

本條約ニ定ムル時間ノ短縮ニ伴フ乗組員ノ増加又ハ増員制ヨリ生スルコトアルヘキ船内設備ノ變更ニ因リ海員ノ衛生上ノ保護ヲ低下スルコトナカルヘク且現ニ法律ニ規定セル標準ヲ低減スルコトナカルヘシ

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ海員ニ對スル船内設備ニ關スル詳細ナル報告ヲ國際労働事務局ニ送付ス

ヘシ

第十條

本條約ノ規定ハ無線電信從事員トシテ使用セラルル者ニ之ヲ適用セス
本條約ノ規定ハ家畜飼養者トシテ使用セラルル者ニ之ヲ適用セス

第十一條

本條約ヲ批准スル國際労働機關ノ各締盟國ハ本條約ヲ實行スルカ爲執リタル措置ニ關シ年報ヲ國際労働事務局ニ提出スルコトヲ約ス右年報ハ國際労働事務局ヨリ他ノ一切ノ國際労働機關ノ締盟國ニ通告セラルヘシ

第十二條

本條約ヲ批准スル國際労働機關ノ各締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ左ノ條件ノ下ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

(イ) 條約ノ規定カ地方ノ狀況ニ照シ適用不可能ニ非サルコト

(ロ) 地方ノ狀況ニ適應セシムル爲其ノ規定ニ對シ必要ナル變更ヲ加フルコト

各締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ付其ノ執リタル措置ヲ國

際労働事務局ニ通告スヘシ

第十三條

千九百十九年六月二十八日ノ「ヴェルサイユ」條約、千九百十九年九月十日ノ「サン・ジェルマン」條約、千九百十九年十一月二十八日ノ「ヌイリ」條約及千九百二十年六月四日ノ「グラン・トリアン」條約第十三條ニ規定スル條件ニ從ヒテ爲サレタル本條約ノ正式批准ハ登録ノ爲之ヲ國際聯盟事務局長ニ通告スヘシ

第十四條

國際労働機關ノ締盟國中ノ二國カ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登録ヲ爲シタルトキハ事務局長ハ國際労働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スヘシ

第十五條

本條約ハ國際聯盟事務局總長カ右ノ通告ヲ發シタル日ヨリ効力ヲ發生スヘク且該事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ効力ヲ發生スルモノトス

第十六條

本條約ヲ批准スル締盟國ハ其ノ批准後一年以内ニ其ノ規定ヲ施行シ且右規定ノ施行ニ必要ナル措置ヲ執ルヘキコトヲ約ス尤モ前條ノ規定ニ從フモノトス

第十七條

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ五年ノ期間滿了後ハ國際聯盟事務總長宛登録ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登録アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生セス

第十八條

國際勞働事務局ノ理事會ハ勞働總會ニ對シ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ提出スヘク且其ノ改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項中ニ加フヘキヤ否ヤヲ審議スヘシ

第十九條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ其ノ正文トス

國際海員法典制定ノ進捗ニ關スル決議

國際勞働總會ハ國際海員法典制定ノ能否ニ付本報告書ヲ以テ提示セラレタル結論ヲ是認シ此ノ種法典ノ必要ニシテ可能ナルコトヲ確認ス而シテ國際海運界ニ影響スル事項ニ付海員及船舶所有者並公衆ノ利益ヲ一層良好ニ保護スル爲總會ハ國際勞働事務局ニ於テ能ク限リ速ニ本總會ノ報告書中ノ原則ニ據リ國際海員法典ヲ制定スルニ付必要ナル調査ヲ進行セムコトヲ要求シ又勞働事務局ニ於テ國際勞働總會ノ千九百二十一年ノ會議迄ニ右事業ノ進行ニ關スル報告ヲ爲スヲ得ヘキコト及理事會ニ於テ近キ將來ニ於ケル國際勞働總會ノ會議事項中ニ國際海員法典編纂ヲ進捗スヘキ條約案又ハ勸告ヲ考慮スルニ適當ナル項目ヲ加フルヲ得ヘキコト確實ナリトノ見解ヲ表明ス

海員雇人契約ニ關スル決議
（國際海員法典委員會ノ少數意見報告書中ニ掲クル諾威提出ノ決議ニ代ルヘキ修正案）

海員雇人契約ニ關スル決議

（國際海員法典委員會ノ少數意見報告書中ニ掲クル諾威提出ノ決議ニ代ルヘキ修正案）

總會ハ各國ニ於ケル海員雇人契約ニハ左ノ二種ノ條項ヲ包含スルコトヲ承認ス

- (一) 公ノ利益ノ爲ニ挿入セラルル公ノ性質ヲ有スル條項
- (二) 船舶所有者若ハ海員又ハ其ノ双方ノ私ノ利益ノ爲ニ挿入セラルル私ノ性質ヲ有スル條項

總會ハ左ノ原則ヲ確認ス

- (一) 海員雇人契約ニ於ケル公ノ性質ヲ有スル條項ハ能フ限り各國ニ於テ之ヲ同一ナラシムヘキコト
- (二) 私ノ性質ヲ有スル條項ヨリ生スル海員及船舶所有者相互ノ法律上ノ權利及義務ハ嚴格ナル平等ノ基礎ニ置カルヘキコト
- (三) 海員及使用者間ノ雇人契約中ノ條項ノ違反ハ公益ヲ保持スルノ目的ヲ有シ私益ヲ目的トセサル公ノ秩序ニ關スル條項ノ違反ニ非サル限り之ヲ刑事犯トシテ取扱ハサルヘキコト刑事犯トシ

モ獨立スルノ道ヲ示シテ、
議會ヘ前テ開キ、
議員養育ニ關スル件

次期總會ノ議題ニ關スル決議

(イ) 十八歳未満ノ石炭夫又ハ火夫使用禁止ノ件
總會ハ十八歳未満ノ者ノ石炭夫又ハ火夫トシテノ使用禁止ヲ次回國際労働總會ノ會議事項中ニ加フル
コトヲ決議ス

(ロ) 兒童體格検査強制施行ノ件
平和條約第四百三條第三項ノ規定ニ依リ總會ハ船内ニ使用セラルル一切ノ兒童ニ對シテ行ハルヘキ強
制體格検査ノ問題ヲ次回國際労働總會ノ會議事項中ニ加フルコトヲ決議ス

千九百二十一年第三回國際勞働總會ニ於テ採擇
セラレタル條約案

石炭夫又ハ火夫トシテ使用シ得ル年少者ノ最低年
齡ヲ定ムル條約案

國際聯盟ノ國際勞働機關ノ總會ハ

國際勞働事務局ノ理事會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ招集セラレ千九百二十一年十年二十五日ヲ以テ其ノ

第三回會議ヲ開催シ

右會議ノ會議事項ノ第八項目ノ一部タル十八歳未満ノ者ノ石炭夫又ハ火夫トシテノ使用ノ禁止ニ關
スル提案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ國際條約案ノ形式ニ依ルヘキモノナルコトヲ決定シ

國際勞働機關ノ締盟國ニ依リ批准セララルルカ爲「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ

對編ノ規定ニ從ヒ左ノ條約案ヲ採擇ス

第一條

本條約ニ於テ「船舶」ト稱スルハ其ノ公有タルト私有タルトヲ問ハス海洋航行ニ從事スル各種ノ船舶
舟艇ヲ總テ包含ス但シ軍艦ハ之ヲ除ク

第二條

十八歲未滿ノ年少者ハ船舶ニ於テ石炭夫又ハ火夫トシテ使用セラレ又ハ勞働スルコトヲ得ス

第三條

第二條ノ規定ハ左ニ付之ヲ適用セス

(イ) 學校船又ハ練習船ニ於ケル年少者ノ爲ス勞働但シ此ノ種ノ勞働ハ公ノ機關ノ承認ヲ得且其ノ
監督ヲ受クヘキモノトス

(ロ) 蒸汽以外ノモノニ依リ主トシテ推進スル船舶ニ於ケル年少者ノ使用

(ハ) 十六歲以上ノ年少者ニシテ體格検査ニ合格シ印度及日本ノ沿岸貿易ニ專ラ從事スル船舶ニ石
炭夫又ハ火夫トシテ使用セラルルモノ尤モ右二國ニ於ケル最代表的ナル使用者團體及勞働者團
體ト協議ノ上定メララルル規則ニ從フヘキモノトス

「船舶」ノ
定義

十八歲未
滿ノ年少
者ノ使用
禁止

第二條不
適用ノ場
合

第四條

十八歲未滿ノ年少者ニ非サレハ石炭夫又ハ火夫トシテ雇入レ難キ港ニ於テ之ヲ必要トスルトキハ右年
少者ト雖使用スルコトヲ得ヘク且右ノ場合ニ於テハ必要ナル石炭夫又ハ火夫一名ニ代ヘテ年少者二名
ヲ雇傭スルコトヲ要ス右年少者ハ少クトモ十六歲タルヘシ

第五條

本條約ノ規定ノ實行ヲ容易ナラシムル爲各船長ハ其ノ船舶ニ於テ使用スル十八歲未滿ノ一切ノ者及其
ノ出生ノ日ヲ記載シタル帳簿又ハ海員名簿ヲ備附クルコトヲ要ス

第六條

乗組員ノ雇入契約ニハ本條約ノ規定ノ要綱ヲ記載スヘシ

第七條

「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ニ定ムル條件ニ依ル本條約ノ正式批准ハ登
録ノ爲國際聯盟事務總長ニ之ヲ通告スヘシ

第八條

本條約ハ事務總長カ國際勞働機關ノ締盟國中ノ二國ノ批准ヲ登錄シタル日ヨリ效力ヲ發生スヘシ

第二條ノ
例外

十八歲未
滿ノ者ニ
關スル帳
簿ノ備附

雇入契約
ニ本條約
ノ規定要
綱記載

批准、登
録

效力發生
時期

本條約ハ該事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ
爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノ
トス

第九條

國際労働機關ノ締盟國中ノ二國カ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登録ヲ爲シタルトキハ事務總長ハ
國際労働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スヘシ事務總長ハ爾後該機關ノ他ノ締盟國ノ通告シタル
批准ノ登録ヲ一切ノ締盟國ニ同様ニ通告スヘシ

第十條

本條約ヲ批准スル締盟國ハ千九百二十四年一月一日迄ニ第一條、第二條、第三條、第四條、第五條及
第六條ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルヘキ措置ヲ執ルコトヲ約ス尤モ第八條ノ規定ニ
從フモノトス

第十一條

本條約ヲ批准スル國際労働機關ノ各締盟國ハ「ヴェルサイユ」條約ノ第四百二十一條ノ規定及他ノ平
和諸條約ノ對當條項ノ規定ニ依リ其ノ殖民地、屬地及保護國ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

批准セル
締盟國ノ
義務

殖民地等
ニ對スル
適用

第十二條

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ十年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務
總長宛登録ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登録アリタル日以後一
年間ハ其ノ效力ヲ生セス

第十三條

國際労働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スヘク且其ノ
改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ掲クヘキヤ否ヤヲ審議スヘシ

第十四條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

廢棄

本條約施
行ニ關ス
ル報告等

正文

本條約ニ於テ「船舶」ト稱スルハ其ノ公有タルト私有タルト問ハス海洋航行ニ從事スル各種ノ船舶
舟艇ヲ總テ包含ス但シ軍艦ハ之ヲ除ク

海上ニ使用セラルル兒童及年少者ノ強制體格検査ニ 關スル條約案

國際聯盟ノ國際勞働機關ノ總會ハ
國際勞働事務局ノ理事會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ招集セラレ千九百二十一年十月二十五日ヲ以テ其
ノ第三回會議ヲ開催シ
右會議ノ會議事項ノ第八項目ノ一部タル海上ニ使用セラルル兒童及年少者ノ強制體格検査ニ關スル
提案ノ採擇ヲ決議シ且
該提案ハ國際條約案ノ形式ニ依ルヘキモノナルコトヲ決定シ
國際勞働機關ノ締盟國ニ依リ批准セラルルカ爲「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對
當編ノ規定ニ從ヒ左ノ條約案ヲ採擇ス

第一條

本條約ニ於テ「船舶」ト稱スルハ其ノ公有タルト私有タルト問ハス海洋航行ニ從事スル各種ノ船舶
舟艇ヲ總テ包含ス但シ軍艦ハ之ヲ除ク

「船舶」ノ
定義

第二條

同一ノ家ニ屬スル者ノミヲ使用スル船舶ニ於ケル場合ヲ除クノ外兒童又ハ十八歳未滿ノ年少者ハ其ノ船舶内労働ニ適スルコトヲ證明シ且權限アル機關ノ承認スル醫師ノ署名シタル健康證明書ノ提出アルニ非サレハ之ヲ斯ル労働ニ使用スルコトヲ得ス

第三條

右ノ兒童又ハ年少者ハ一年ヲ超エサル期間内ニ右體格検査ノ更新アリ且新検査毎ニ其ノ海上労働ニ適スルコトヲ證明スル健康證明書ノ提出アルニ非サレハ之ヲ斯ル労働ニ繼續使用スルコトヲ得ス健康證明書ノ有効期間カ航海中滿了スルトキハ右證明書ハ該航海ノ終了迄效力ヲ存スヘシ

第四條

緊急ナル場合ニ於テハ權限アル機關ハ十八歳未滿ノ年少者カ第二條及第三條ノ定ムル検査ヲ受ケスシテ乗組ムコトヲ許容スルコトヲ得但シ當該船舶ノ寄港スル最初ノ港ニ於テ右検査ヲ受クルコトヲ要ス

第五條

「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ニ定ムル條件ニ依ル本條約ノ正式批准ハ登録ノ爲國際聯盟事務總長ニ之ヲ通告スヘシ

第六條

本條約ハ事務總長カ國際労働機關ノ締盟國中ノ二國ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ效力ヲ發生スヘシ本條約ハ該事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノトス

第七條

國際労働機關ノ締盟國中ノ二國カ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登録ヲ爲シタルトキハ事務總長ハ國際労働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スヘシ事務總長ハ爾後該機關ノ他ノ締盟國ノ通告シタル批准ノ登録ヲ一切ノ締盟國ニ同様ニ通告スヘシ

第八條

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ千九百二十四年一月一日迄ニ第一條、第二條、第三條及第四條ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルヘキ措置ヲ執ルコトヲ約ス尤モ第六條ノ規定ニ從フモノトス

第九條

批准、登録

緊急時ニ於ケル第三條ノ緩和

右年少者ノ繼續使用ノ要件

十八歳未滿ノ年少者使用ノ要件

效力發生時期

批准登録ノ通告

批准セラル締盟國ノ義務

殖民地等
適用スル

廢棄

本條約施行ニ關スル報告等

正文

本條約ヲ批准スル國際勞働機關ノ各締盟國ハ「ヴェルサイユ」條約ノ第四百二十一條ノ規定及他ノ平和諸條約ノ對當條項ノ規定ニ依リ其ノ殖民地、屬地及保護國ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

第十條

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ十年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務局總長宛登錄ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登錄アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生セス

第十一條

國際勞働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スヘク且其ノ改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ掲クヘキヤ否ヤヲ審議スヘシ

第十二條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

前文

千九百二十六年第八回國際勞働總會ニ於テ採擇セラレタル條約案及勸告

船中ニ於ケル移民監督ノ單純化ニ關スル條約案

國際聯盟ノ國際勞働機關ノ總會ハ

國際勞働事務局ノ理事會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ召集セラレ千九百二十六年五月二十六日ヲ以テ其ノ

第八回會議ヲ開催シ

右會議ノ會議事項ノ問題タル船中ニ於ケル移民監督ノ單純化ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ國際條約案ノ形式ニ依ルベキモノナルコトヲ決定シ

國際勞働機關ノ締盟國ニ依リ批准セララルガ爲「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ノ規定ニ從ヒ千九百二十六年六月五日左ノ條約案ヲ採擇ス

第一條

「移民船」
「移民」ノ
定義

本條約ノ適用ニ付テハ「移民船」及「移民」ノ定義ハ各國ニ付當該國ノ權限アル機關ニ依リ定メラルベシ

第二條

移民監督
ノ原則

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ移民船中ニ於テ移民保護ノ爲行ハルル公ノ監督ガ以下定ムル所ヲ除クノ外二國以上ノ政府ニ依リ行ハレザルノ原則ヲ承認スルコトヲ約ス

本條ハ他國政府ガ移民トシテ輸送セラルル其ノ國民ニ同伴セシムル爲隨時且該政府ノ費用ヲ以テ代表者ヲ視察者ノ資格ニ於テ及監督官ノ職務ヲ侵害セザルベキコトヲ條件トシテ船中ニ乗込マシムルコトヲ妨ゲザルベシ

第三條

監督官ノ
任命

移民監督官ガ移民船中ニ乗込マシメラルルトキハ右監督官ハ原則トシテ國旗國政府ニ依リ任命セラルベシ但シ右監督官ハ國旗國政府ト當該國民ガ船中ニ移民トシテ輸送セラルル他ノ一國又ハ二國以上ノ政府トノ間ノ協定ニ基キ他ノ一國政府ニ依リ任命セラルルコトヲ得

第四條

監督官ノ
資格

監督官タルニ要スル實地經驗竝ニ必要ナル専門的及道德的ノ資格ハ其ノ任命ニ付責任アル政府ニ依リ

定メラルベシ

監督官ハ如何ナル方法ニ於テモ船舶所有者若ハ海運會社ト直接若ハ間接ニ關係ヲ有シ又ハ之ニ從屬スルコトヲ得ズ

本條ハ政府ガ例外トシテ且絶對必要ノ場合ニ於テ船醫ヲ監督官ニ任命スルコトヲ妨ゲザルベシ

第五條

移民ノ權
利ノ尊重

監督官ハ移民ガ國旗國ノ法令若ハ適用アル其ノ他ノ法令ニ依リ又ハ國際協定若ハ其ノ輸送契約ノ條項ニ依リ有スル權利ノ尊重ヲ確保スベシ

國旗國政府ハ移民ノ狀態ニ關スル現行ノ法令又ハ規則ノ本文及右政府ニ通告セラレタル右ノ事項ニ關係アル國際協定又ハ契約ノ本文ヲ監督官(其ノ國籍ノ如何ニ拘ラズ)宛通告スベシ

第六條

船長ノ權
限ハ制限
セラレス

船中ニ於ケル船長ノ權限ハ本條約ニ依リ制限セラレザルモノトス監督官ハ如何ナル方法ニ於テモ船中ニ於ケル船長ノ權限ヲ侵害スルコトヲ得ザルベク船中ニ於ケル移民ノ保護及福利ニ直接關係アル法令、規則、協定又ハ契約ノ實施ヲ確保スルコトニノミ專ラ關與スベシ

第七條

監督官ノ
報告義務

船舶ノ目的港ニ到着シタル後八日以内ニ監督官ハ國旗國政府ニ報告ヲ爲スベク右政府ハ關係アル他國政府ヨリ豫メ其ノ要求アリタル場合ニ於テハ右他國政府ニ右報告ノ寫ヲ交付スベシ
右報告ノ寫ハ監督官ニ依リ當該船長ニ交付セララルベシ

第八條

批准、登
録

「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ニ定ムル條件ニ依ル本條約ノ正式批准ハ登録ノ爲國際聯盟事務總長ニ之ヲ通告スベシ

第九條

效力發生
時期

本條約ハ事務總長ガ國際労働機關ノ締盟國中ノ二國ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ效力ヲ發生スベシ
本條約ハ該事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル締盟國ノミヲ拘束スベシ
爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノトス

第十條

批准、登
録ノ通告

國際労働機關ノ締盟國中ノ二國ガ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登録ヲ爲シタルトキハ事務總長ハ國際労働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スベシ事務總長ハ爾後該機關ノ他ノ締盟國ノ通告シタル

批准ノ登録ヲ一切ノ締盟國ニ同様ニ通告スベシ

第十一條

批准セル
締盟國ノ
義務

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ千九百二十八年一月一日迄ニ第一條、第二條、第三條、第四條、第五條、第六條及第七條ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルベキ措置ヲ執ルコトヲ約ス尤モ第九條ノ規定ニ從フモノトス

第十二條

殖民地等
ニ對スル
適用

本條約ヲ批准スル國際労働機關ノ各締盟國ハ「ヴェルサイユ」條約ノ第四百二十一條ノ規定及他ノ平和諸條約ノ對當條項ノ規定ニ依リ其ノ殖民地、屬地及保護國ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

第十三條

廢
棄

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ十年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務總長宛登録ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登録アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十四條

本條約施
行ニ關ス

國際労働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スベク且其ノ

改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ掲グベキヤ否ヤヲ審議スベシ

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

第十五條

船中ニ於ケル移民タル婦人及少女ノ保護ニ關スル勸告

國際聯盟ノ國際労働機關ノ總會ハ

國際労働事務局ノ理事會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ招集セラレ千九百二十六年五月二十六日ヲ以テ其ノ

第八回會議ヲ開催シ

右會議ノ會議事項ノ一部タル船中ニ於ケル移民タル婦人及少女ノ保護ヲ確保スル爲執ルベキ方法ニ

關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ勸告ノ形式ニ依ルベキモノナルコトヲ決定シ

國際労働機關ノ締盟國ヲシテ立法其ノ他ノ方法ニ依リ之ガ實現ヲ爲サシムル目的ヲ以テ考慮セシムル
爲「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ノ規定ニ從ヒ千九百二十六年六月五日左
ノ勸告ヲ採擇ス

責任アル者ニ依リ同伴セラレザル十五名以上ノ婦人又ハ少女ガ移民船中ニ移民トシテ輸送セララル場
合ニ於テハ當該船長ノ權限ヲ如何ナル方法ニ於テモ侵害スルコトナクシテ右移民ノ必要トスベキ物質
上又ハ精神上ノ援助ヲ右移民ニ與フル爲船中ニ於テ果スベキ他ノ職務ヲ有セザル相當ノ資格アル婦人

移民保護
者トシテ
ノ婦人ノ
任命

ヲ任命スベシ右婦人ハ之ヲ任命シタル機關ニ報告ヲ爲スベク又其ノ報告ハ關係アルベキ政府ノ用ニ供セラルベシ

（以下は非常に淡く、ほとんど不可読な文字が並ぶ。これはおそらく印刷のミスや、あるいは非常に浅く書かれた文字によるものである。）

千九百二十六年第九回國際勞働總會ニ於テ採擇セラレタル條約案勸告及決議

海員ノ雇人契約ニ關スル條約案

國際聯盟ノ國際勞働機關ノ總會ハ

國際勞働事務局ノ理事會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ招集セラレ千九百二十六年六月七日ヲ以テ其ノ第九回會議ヲ開催シ

右會議ノ會議事項ノ第一項目ノ一部タル海員ノ雇入契約ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且該提案ハ國際條約案ノ形式ニ依ルベキモノナルコトヲ決定シ

國際勞働機關ノ締盟國ニ依リ批准セラルルガ爲「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ノ規定ニ從ヒ千九百二十六年六月二十四日左ノ條約案ヲ採擇ス

本條約ノ適用範圍

本條約ハ本條約ヲ批准スル締盟國ニ於テ登録セラレタル一切ノ航海船竝ニ右船舶ノ所有者、船長及海員ニ之ヲ適用ス

本條約ノ不適用

本條約ハ左ニ之ヲ適用セズ

軍艦

商業ニ従事セザル政府ノ船舶

沿岸貿易ニ従事スル船舶

娛樂用「ヨット」

「インディアン、カントリイ、クラフト」

漁船

總噸數百噸未滿若ハ三百立方メートル未滿ノ船舶又ハ「ホーム、トレード」ニ従事スル船舶ニシテ本條約採擇ノ日ニ於テ右船舶ノ特別規律ノ爲國內法ニ依リ定メラルル制限噸數未滿ノモノ

第二條

本條約ニ於テ左ノ用語ハ左ノ意義ヲ有ス

(イ) 「船舶」ト稱スルハ其ノ公有タルト私有タルトヲ問ハズ通常海洋航行ニ従事スル一切ノ船舶舟艇

用語ノ意義

ヲ包含ス

(ロ) 「海員」ト稱スルハ其ノ資格ノ如何ヲ問ハズ船中ニ於テ使用セラレ又ハ從業シ且海員名簿ニ記載

セラルル一切ノ者ヲ包含ス但シ船長、水先人、練習船ニ於ケル候補生及生徒、正式ニ見習契約ヲ

爲シタル見習竝ニ軍艦乗組員其ノ他政府ノ繼續的勤務ニ服スル者ヲ除ク

(ハ) 「船長」ト稱スルハ船舶ノ指揮及監督ニ任ズル一切ノ者ヲ包含ス但シ水先人ヲ除ク

(ニ) 「ホーム、トレード」ノ船舶」ト稱スルハ一國ト國內法ニ依リ定メラルル地理上ノ制限内ニ於

ケル隣接國ノ諸港トノ間ノ商業ニ従事スル船舶ヲ謂フ

第三條

雇入契約ノ署名

雇入契約ハ船舶所有者又ハ其ノ代理人及海員ノ雙方ニ依リ署名セララルモノトス雇入契約ノ署名セララルニ先チ右契約ヲ檢スル爲相當ノ便宜ヲ海員及必要アルトキハ其ノ補佐者ニ與フベシ海員ハ權限アル公ノ機關ノ適當ナル監督ヲ確保スル爲國內法ノ定ムル條件ニ從ヒ契約ニ署名スベシ契約ノ條項ガ書面ヲ以テ權限アル機關ニ提出セラレ且船舶所有者又ハ其ノ代理人及海員ノ雙方ニ依リ確認セラレタルコトヲ右機關ニ於テ證明スルトキハ前各項ノ規定ハ履行セラレタルモノト看做ス海員ガ契約ヲ諒解スルコトヲ確保スル爲國內法ニ適當ナル規定ヲ設クベシ

契約ハ國內法又ハ本條約ノ規定ニ反スル事項ヲ包含スルコトヲ得ズ
船舶所有者及海員ノ利益保護ノ爲必要ト認メラルル契約ノ締結ニ關スル其ノ他ノ形式及保障ヲ國內法
ニ定ムベシ

第四條

當事者雙方ガ契約ニ關スル裁判管轄ニ付通常ノ規定ニ依ラザル旨ヲ豫メ約スル條項ヲ契約ニ包含セシ
メザルベキコトヲ確保スル爲國內法ニ從ヒ適當ナル措置ヲ執ルベシ
本條ハ仲裁ニ付スルコトヲ排除スルモノト之ヲ解釋スルコトヲ得ズ

第五條

總テノ海員ニハ船中ニ於ケル其ノ勤務ノ事項ヲ掲載スル文書ヲ交付スベシ右文書ノ様式、記録スベキ
事項及之ガ記載ノ方法ハ國內法ニ依リ定メラルベシ
右ノ文書ハ海員ノ勤務ノ成績又ハ其ノ給料ニ關スル何等ノ記述ヲモ包含スルコトヲ得ズ

第六條

契約ハ一定期間若ハ一航海ニ付又ハ國內法ニ依リ許容セララルトキハ期間ヲ定メズシテ締結スルコト
ヲ得

通常規定ニ依ル裁判管轄ノ防退

海員ノ勤務事項ノ勤務事ノ文書ノ交

契約期間

契約書ノ内容

契約書ニハ當事者各自ノ權利及義務ヲ明瞭ニ記載スベシ

右ハ一切ノ場合ニ於テ左ノ事項ヲ包含スベシ

- (一) 海員ノ氏名、其ノ出生ノ日又ハ年齢及其ノ出生地
- (二) 契約締結ノ地及日
- (三) 海員ガ船中勤務ヲ約シタル船舶ノ名稱
- (四) 國內法ニ規定アルトキハ船舶乗組員ノ數
- (五) 契約締結ニ際シ豫メ定メ得ベキトキハ其ノ爲サントスル航海海員ノ從事スベキ勤務ノ種類
- (六) 可能ナルトキハ海員ガ勤務ノ爲上船スルコトヲ要スル場所及日
- (七) 海員ニ給與セラルベキ食糧ノ標準但シ國內法ニ依リ別種ノ制度ヲ定ムル場合ヲ除ク
- (八) 給料ノ額
- (九) 契約ノ終了及其ノ條件即チ
- (十) 契約ガ一定期間ニ付締結セララルトキハ契約終了ノ日

(ロ) 契約ガ一航海ニ付締結セララルトキハ目的港及之ニ到着シタル後海員ノ雇止メララル迄ニ

經過スベキ期間

- (ハ) 契約ガ期間ヲ定メズシテ締結セラレタルトキハ當事者ノ一方ガ之ヲ解除シ得ベキ條件及解除ノ爲必要ナル豫告期間但シ船舶所有者ニ付定ムル右期間ハ海員ニ付定ムルモノヨリ短期ナルコトヲ得ズ
- (ニ) 同一ノ船舶業者ニ付一年ノ勤務ヲ終ヘタル海員ニ有給ノ年休ヲ與フルコトガ國內法ニ規定セラレルトキハ右年休
- (三) 國內法ノ要求スル其ノ他ノ事項

第七條

海員名簿ニ記載又ハ添附

國內法ガ海員名簿ヲ船中ニ備置クベキコトヲ定ムル場合ニ於テハ右國內法ハ契約ヲ海員名簿ニ記載シ又ハ添附スベキコトヲ定ムベシ

第八條

契約條項又ハ其ノ他ノ關スル措置

海員ヲシテ其ノ權利及義務ノ性質及範圍ヲ會得スルヲ得シムル爲國內法ハ船員室ヨリ容易ニ近ヅキ得ル場所ニ契約ノ條項ヲ揭示シ又ハ其ノ他適當ナル方法ニ依リ船中ニ於テ雇傭條件ニ關スル明瞭ナル智識ヲ得シムル爲執ルベキ措置ヲ定ムベシ

第九條

期間ノ定ナキ契約ノ終了豫告

期間ノ定ナキ契約ハ船舶ガ船積又ハ陸揚ヲ爲ス港ニ於テ當事者ノ一方之ヲ終了セシムルコトヲ得但シ契約ニ定ムル豫告ヲ與フベク該豫告ノ期間ハ二十四時間ヲ下ルコトヲ得ズ
豫告ハ書面ヲ以テ之ヲ與フベシ國內法ハ此ノ點ニ關スル當事者間ノ將來ノ爭議ヲ防止スル爲最適當ナル豫告ノ方法ヲ定ムベシ

第十條

契約終了ノ事由

國內法ハ豫告ガ適法ニ與ヘラレタル場合ニ於テモ契約ノ終了セザルベキ特別ノ場合ヲ定ムベシ
一航海ニ付、一定期間ニ付又ハ期間ヲ定メズシテ締結セラレタル契約ハ左ノ事由ニ因リ適法ニ終了セシメラルベシ

- (イ) 當事者ノ合意
- (ロ) 海員ノ死亡
- (ハ) 船舶ノ滅失シ又ハ全ク航海ニ堪ヘザルニ至リタルコト
- (ニ) 國內法又ハ本條約ニ定メラルル其ノ他ノ事由

第十一條

船主側ノ
即時雇止

第十二條

海員ノ即
時雇止ノ
請求

國內法ハ又海員ガ其ノ即時雇止ヲ請求シ得ル場合ヲ定ムベシ

第十三條

海員ノ昇
格ノ爲ノ
雇止請求

海員ガ船舶ヲ指揮スル者、運轉士、機關士其ノ他現在以上ノ地位ニ就キ得ルコト又ハ其ノ他自己ノ利益ノ爲雇止メラルルコトヲ必要トスル事情其ノ雇入レラレタル後生ジタルコトヲ船舶所有者又ハ其ノ代理人ニ證明シタルトキハ右海員ハ其ノ雇止ヲ請求スルコトヲ得但シ右海員ガ船舶所有者ノ費用ヲ増加スルコトナクシテ船舶所有者又ハ其ノ代理人ノ満足スル適當ナル後任者ヲ提供シタル場合ニ限ル

第十四條

右文書及
海員名簿
ニ雇止ノ
記入、其
ノ證明

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ其ノ雇止ノ時ニ至ル迄ノ給料ヲ受クル權利ヲ有スベシ
契約ノ終了又ハ解除ノ事由ノ如何ヲ問ハズ第五條ニ從ヒ海員ニ交付セラルル文書及海員名簿ニ當該海員ノ雇止メラレタルコトヲ示ス記入ヲ爲スベク且右ノ記入ハ當事者一方ノ要求アルトキハ權限アル公ノ機關ニ依リ證明セラルベシ

勤務成績
ニ關スル
證明書等
ヲ受クル
ノ權利

第十五條

海員ハ一切ノ場合ニ於テ第五條ニ掲ゲラルル記録ノ外其ノ勤務ノ成績ニ關スル別箇ノ證明書又ハ少クトモ其ノ契約ニ基ク義務ヲ充分果シタルカ否カヲ指示スル證明書ヲ船長ヨリ受クル權利ヲ有ス

第十六條

國內法ハ本條約ノ條項ノ遵守ヲ確保スルノ措置ヲ定ムベシ
「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ニ定ムル條件ニ依ル本條約ノ正式批准ハ登録ノ爲國際聯盟事務總長ニ之ヲ通告スベシ

第十七條

本條約ハ事務總長ガ國際労働機關ノ締盟國中ノ二國ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ效力ヲ發生スベシ
本條約ハ該事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル締盟國ノミヲ拘束スベシ
爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノトス

第十八條

國際労働機關ノ締盟國中ノ二國ガ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登録ヲ爲シタルトキハ事務總長ハ

批准登録
ノ通告

效力發生
時期

本條約遵
守ヲ確保
スルノ措
置

國際勞働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スベシ事務總長ハ爾後該機關ノ他ノ締盟國ノ通告シタル批准ノ登録ヲ一切ノ締盟國ニ同様ニ通告スベシ

第十九條

本條約ヲ准批スル各締盟國ハ千九百二十八年一月一日迄ニ第一條、第二條、第三條、第四條、第五條、第六條、第七條、第八條、第九條、第十條、第十一條、第十二條、第十三條、第十四條及第十五條ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルベキ措置ヲ執ルコトニ同意ス尤モ第十七條ノ規定ニ從フモノトス

第二十條

本條約ヲ批准スル國際勞働機關ノ各締盟國ハ「ヴェルサイユ」條約ノ第四百二十一條ノ規定及他ノ平和諸條約ノ對當條項ノ規定ニ依リ其ノ殖民地、屬地及保護國ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

第二十一條

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ十年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務總長宛登録ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登録アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生ゼズ

批准セル
締盟國ノ
義務

殖民地等
ニ對スル
適用

廢棄

第二十二條

國際勞働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スベク且其ノ改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ掲グベキヤ否ヤヲ審議スベシ

第二十三條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

本條約施
行ニ關ス
ル報告等

正文

海員ノ送還ニ關スル條約案

國際聯盟ノ國際勞働機關ノ總會ハ

國際勞働事務局ノ理事會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ招集セラレ千九百二十六年六月七日ヲ以テ其ノ第

九回會議ヲ開催シ

右會議ノ會議事項ノ第一項目ノ一部タル海員ノ送還ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ國際條約案ノ形式ニ依ルベキモノナルコトヲ決定シ

國際勞働機關ノ締盟國ニ依リ批准セララルガ爲「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ
對當編ノ規定ニ從ヒ千九百二十六年六月二十三日左ノ條約案ヲ採擇ス

第一條

本條約ハ本條約ヲ批准スル締盟國ニ於テ登録セラレタル一切ノ航海船竝ニ右船舶ノ所有者、船長及海
員ニ之ヲ適用ス

本條約ハ左ニ之ヲ適用セズ

軍艦

本條約ノ
適用範圍

本條約ノ
不適用

商業ニ従事セザル政府ノ船舶
沿岸貿易ニ従事スル船舶

娛樂用「ヨット」

「インディアン、カントリ、クラフト」

漁船

總噸數百噸未滿若ハ三百立方メートル未滿ノ船舶又ハ「ホーム、トレード」ニ従事スル船舶ニシテ
本條約採擇ノ日ニ於テ右船舶ノ特別規律ノ爲國內法ニ依リ定メラルル制限噸數未滿ノモノ

第二條

本條約ニ於テ左ノ用語ハ左ノ意義ヲ有ス

用語ノ意

(イ) 「船舶」ト稱スルハ其ノ公有タルト私有タルト問ハズ通常海洋航行ニ従事スル一切ノ船舶舟艇
ヲ包含ス

(ロ) 「海員」ト稱スルハ其ノ資格ノ如何ヲ問ハズ船中ニ於テ使用セラレ又ハ從業シ且海員名簿ニ記載
セラルル一切ノ者ヲ包含ス但シ船長、水先人、練習船ニ於ケル候補生及生徒、正式ニ見習契約ヲ
爲シタル見習並ニ軍艦乗組員其ノ他政府ノ繼續的勤務ニ服スル者ヲ除ク

(ハ) 「船長」ト稱スルハ船舶ノ指揮及監督ニ任ズル一切ノ者ヲ包含ス但シ水先人ヲ除ク
(ニ) 「ホーム、トレード」船舶」ト稱スルハ一國ト國內法ニ依リ定メラルル地理上ノ制限内ニ於ケ
ル隣接國ノ諸港トノ間ノ商業ニ従事スル船舶ヲ謂フ

第三條

契約ノ存續中又ハ其ノ終了ノ際下船シタル海員ハ國內法ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ本國、其ノ雇入港又ハ
發航港迄送還セラルル權利ヲ有ス右國內法ハ之ニ關シ必要ナル規定就中何人ガ送還ノ費用ヲ負擔スベ
キカヲ定ムル規定ヲ包含スベシ
海員ガ前項ニ從ヒ定メラルル目的地ノ一ニ向フ船中ニ於テ適當ナル職務ヲ與ヘラレタルトキハ右海員
ハ適法ニ送還セラレタルモノト看做ス
海員ガ其ノ本國、雇入港若ハ其ノ隣接港又ハ發航港ニ於テ下船シタルトキハ右海員ハ送還セラレタル
モノト看做ス

海員ノ送
還セラ
ル權利

本國以外ノ國ニ於テ雇入レラレタル外國人海員ガ送還セラルル權利ヲ有スル條件ハ國內法又ハ國內法
ノ規定ナキトキハ雇入契約ノ定ムル所ニ依ルベシ但シ本國ノ港ニ於テ雇入レラレタル海員ニハ前各項
ノ規定ノ適用アルモノトス

送還費用
ヲ海員ノ
負擔ト爲
スコトヲ
得ザル事
由

第四條

送還ノ費用ハ海員ガ左ノ事由ニ因リ取殘サレタルトキハ其ノ負擔ト爲スコトヲ得ズ

(イ) 船舶勤務中ニ受ケタル傷痕

(ロ) 難破

(ハ) 自己ノ故意又ハ過失ニ因ラザル疾病

(ニ) 自己ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ因ル雇止

第五條

送還費用

送還ノ費用ハ旅行中ニ於ケル海員ノ運送、宿泊及食糧ニ關スル一切ノ費用ヲ包含スベシ右ハ其ノ所定ノ出發ノ時ニ至ル迄ノ生活費ヲモ包含ス

海員ハ乗組員ノ一員トシテ送還セラルルトキハ航海中ニ爲シタル勤務ニ對シ報酬ヲ請求スル權利ヲ有ス

第六條

送還ニ關
スル義務

船籍國ノ公ノ機關ハ本條約ノ適用アル場合ニ於テハ乗組員ノ國籍ノ如何ヲ問ハズ其ノ送還ニ付監督ノ責ニ任ズベク且必要アルトキハ其ノ費用ノ前貸ノ責ニ任ズベシ

批准、登
録

第七條

「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ニ定ムル條件ニ依ル本條約ノ正式批准ハ登録ノ爲國際聯盟事務總長ニ之ヲ通告スベシ

第八條

效力發生
時期

本條約ハ事務總長ガ國際労働機關ノ締盟國中ノ二國ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ效力ヲ發生スベシ
本條約ハ該事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル締盟國ノミヲ拘束スベシ
爾後本條約ハ他ノ何レノ締盟國ニ付テモ右事務局ニ其ノ批准ヲ登録シタル日ヨリ效力ヲ發生スルモノトス

第九條

批准、登
録ノ通告

國際労働機關ノ締盟國中ノ二國ガ國際聯盟事務局ニ本條約ノ批准ノ登録ヲ爲シタルトキハ事務總長ハ國際労働機關ノ一切ノ締盟國ニ右ノ旨ヲ通告スベシ事務總長ハ爾後該機關ノ他ノ締盟國ノ通告シタル批准ノ登録ヲ一切ノ締盟國ニ同様ニ通告スベシ

第十條

批准セル

本條約ヲ批准スル各締盟國ハ千九百二十八年一月一日迄ニ第一條、第二條、第三條、第四條、第五條

締盟國ノ
義務

及第六條ノ規定ヲ實施シ且右規定ヲ實施スルニ必要ナルベキ措置ヲ執ルコトニ同意ス尤モ第八條ノ規定ニ從フモノトス

第十一條

殖民地等
ニ對スル
適用

本條約ヲ批准スル國際労働機關ノ各締盟國ハ「ヴェルサイユ」條約ノ第四百二十一條ノ規定及他ノ平和諸條約ノ對當條項ノ規定ニ依リ其ノ殖民地、屬地及保護國ニ之ヲ適用スルコトヲ約ス

第十二條

廢棄

本條約ヲ批准シタル締盟國ハ本條約ノ最初ノ效力發生ノ日ヨリ十年ノ期間滿了後ニ於テ國際聯盟事務局總長宛登録ノ爲ニスル通告ニ依リ之ヲ廢棄スルコトヲ得右ノ廢棄ハ該事務局ニ登録アリタル日以後一年間ハ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十三條

本條約施
行ニ關ス
ル報告等

國際労働事務局ノ理事會ハ少クトモ十年ニ一回本條約ノ施行ニ關スル報告ヲ總會ニ提出スベク且其ノ改正又ハ變更ニ關スル問題ヲ總會ノ會議事項ニ掲グベヤ否ヤヲ審議スベシ

第十四條

正文

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トス

前文

船長及見習ノ送還ニ關スル勸告

國際聯盟ノ國際労働機關ノ總會ハ

國際労働事務局ノ理事會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ招集セラレ千九百二十六年六月七日ヲ以テ其ノ第九回會議ヲ開催シ

右會議ノ會議事項ノ第一項目ノ一部タル船長及見習ノ送還ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ勸告ノ形式ニ依ルベキモノナルコトヲ決定シ

國際労働機關ノ締盟國ヲシテ立法其ノ他ノ方法ニ依リ之ガ實現ヲ爲サシムル目的ヲ以テ考慮セシムル爲「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ノ規定ニ從ヒ千九百二十六年六月二十三日左ノ勸告ヲ採擇ス

總會ハ各國政府ガ總會ニ依リ其ノ第九回會議ニ於テ採擇セラレタル海員ノ送還ニ關スル條約案ノ條項ノ適用ヲ受ケザル船長及正式ニ見習契約ヲ爲シタル見習ノ送還ヲ確保スル措置ヲ執ルベキコトヲ勸告ス

船長及見
習ノ送還
ヲ確保ス
ルノ措置

海員ノ労働状態ノ監督ニ付テノ一般原則ニ關スル勸告

國際聯盟ノ國際労働機關ノ總會ハ

國際労働事務局ノ理事會ニ依リ「ジュネーヴ」ニ招集セラレ千九百二十六年六月七日ヲ以テ其ノ第九回會議ヲ開催シ

右會議ノ會議事項ノ第二項目ヲ成セル問題タル海員ノ労働状態ノ監督ニ付テノ一般原則ニ關スル提案ノ採擇ヲ決議シ且

該提案ハ勸告ノ形式ニ依ルベキモノナルコトヲ決定シ

國際労働機關ノ締盟國ヲシテ立法其ノ他ノ方法ニ依リ之ガ實現ヲ爲サシムル目的ヲ以テ考慮セシムル爲「ヴェルサイユ」條約ノ第十三編及他ノ平和諸條約ノ對當編ノ規定ニ從ヒ千九百二十六年六月二十二日左ノ勸告ヲ採擇ス

労働者ノ身體上、道徳上及智能上ノ福利ノ爲特別且緊急ノ必要アル方法及原則中ニ於テ「ヴェルサイユ」條約其ノ他ノ平和諸條約ハ労働者保護ヲ目的トスル法令及規則ノ實施ヲ確保スル爲労働状態ノ監督ニ特別ノ注意ヲ拂フコトヲ國際労働機關ノ義務ト爲セルニ因リ

國際勞働總會ハ「勞働者保護ヲ目的トスル法令及規則ノ實施ヲ確保スル爲ノ監督制度ノ組織ニ付テノ一般原則ニ關スル勸告」ヲ其ノ第五回會議(千九百二十三年十月)ニ於テ採擇シタルニ因リ
 右ノ勸告ハ工業的企業ノ監督ニ於テ得タル經驗ニ本來基クモノニシテ工場ニ於ケル勞働ト其ノ性質及狀態ヲ根本的ニ異ニスル海員ノ勞働ニ之ヲ適用スルコト又ハ適應セシムルコトスラ殊ニ困難ナルベキニ因リ

海員ノ勞働狀態ノ監督ハ海員保護ニ關スル立法ガ各國ニ於テ發達シ且海員ノ勞働狀態ニ關スル條約ガ將來總會ニ依リ採擇セラルルニ從ヒ其ノ重要ヲ增加スベキニ因リ

前記ノ理由ニ基キ締盟國ヲシテ海員ノ勞働狀態ノ監督制度ノ設置又ハ組織改正ニ付既得ノ經驗ヲ利用スルヲ得シムル爲海員保護ヲ目的トスル措置ノ實施ヲ確保スルニ最好ク適合スルモノト實際ノ示ス一般原則ヲ指示スルコト望マシキニ因リ

總會ハ國際勞働機關ノ各締盟國ガ左ノ諸原則ヲ考慮スベキコトヲ勸告ス

第一 監督ノ範圍

一 海員ノ勞働狀態ノ監督ニ關スル各國ノ責任アル機關ノ主タル職務ハ右勞働狀態ニ關スル一切ノ法令及規則ノ實施竝ニ就業中ニ於ケル海員ノ保護ヲ確保スルニ在ルベキコト

監督機關ノ主タル職務

從タル社會的職務ノ付與

二 監督機關ガ其ノ主タル職務ノ執行中得タル經驗ニ基キ他ノ從タル社會的職務(右ハ各國ニ於テ行ハルル觀念、慣習及因襲ニ從ヒ異ルコトヲ得)ヲ監督官ニ付與スルコト望マシク且可能ナリト認めラルル範圍ニ於テハ左ノ條件ニ從ヒ其ノ主タル職務ニ附加シテ右從タル職務ヲ付與シ得ベキコト
 (イ) 右ハ監督官ノ主タル職務ノ執行ヲ何等妨害セザルコト
 (ロ) 右ハ監督官ト船舶所有者及海員トノ關係ニ付監督官ニ必要ナル權威及公平ヲ何等損ハザルコト

第二 監督ノ組織

總會ハ左ノ通勸告ス

三 行政上ノ慣行ニ適合スル場合ニ於テ且海員ノ勞働狀態ニ關スル法令及規則ノ實施ニ付能フ限リ劃一ヲ確保スル目的ヲ以テ右ノ法令及規則ノ實施ヲ監督スル責任アル各種ノ部局又ハ機關ハ單一ノ機關ノ下ニ統括セラルベキコト

四 行政上ノ慣行ガ右監督ノ統括ヲ許サザルトキハ各種ノ部局又ハ機關ニシテ其ノ職務ガ全部又ハ一部海員保護ニ關係アルモノヲシテ相互ノ經驗ニ依リ便益ヲ得シムベク且最有效ト認めラルベキ共通ノ原則ニ從ヒ其ノ職務ノ方法ヲ定ムルヲ得シムベキコト

五 右目的ノ爲行政上ノ慣行ニ適合スル範圍ニ於テ且各國ニ於テ最適當ナリト認めラルル方法(報

監督責任アル部局又ハ監督機關ノ統一一

右部局又ハ機關ノ間ニ於ケ

ル密接ナ
ル關係及
立力ノ確
立

右部局又
ハ機關ト
工場監督
機關トノ
連絡保持

總括年報
ノ刊行

右年報ニ
包含セラ
ルヘキ事
項

右年報ニ
包含セラ
ルヘキ統
計表

告及資料ノ交換、定期ノ會議等）ニ依リ右各種ノ部局又ハ機關ノ間ニ密接ナル關係及不斷ノ協力ヲ確立スベキコト

六 海員ノ労働状態ヲ監督スル責任アル各種ノ部局又ハ機關ハ工場監督ノ責任アル機關ト相互ニ關係アル事項ニ付連絡ヲ保持スベキコト

第三 監督機關ノ報告

總會ハ左ノ通勸告ス

七 海員ノ労働状態ノ監督ニ關スル總括年報ハ中央機關ニ依リ又ハ右監督ヲ行フ責任アル各種ノ機關ノ協力ニ依リ刊行セラルベキコト

八 右年報ハ當該年内ニ實施セラレタル海員ノ労働状態及其ノ監督ニ關スル當該國ノ法令及規則竝ニ其ノ改正ノ目錄ヲ包含スベキコト

九 右年報ハ又監督ノ組織及事務ニ付必要ナル説明ヲ伴ヒ且可能ニシテ當該國ノ行政上ノ慣行ニ適合スル範圍ニ於テ左ノ事項ヲ表示スル統計表ヲ包含スベキコト

(イ) 各種ノ監督ノ下ニ在ル艦裝セル船舶數 此等ノ船舶ハ船型(機械ニ依リ推進スル船舶及帆船)ニ依リ之ヲ種別シ且各種類ハ其ノ使用目的ニ依リ之ヲ細別スルモノトス

船舶ノ臨
檢

- (ロ) 各種ノ船舶中ニ現ニ從業スル海員ノ數
- (ハ) 監督官ノ臨檢シタル船舶數及其ノ乗組員ノ構成
- (ニ) 監督官ノ確認シタル法令又ハ規則ノ違反及其ノ處罰ノ數及性質
- (ホ) 海員ノ労働中ニ生ジタル災害ノ數、性質及原因
- (ヘ) 海員ノ労働状態ニ關スル國際労働條約ノ規定實施ノ爲執リタル措置及其ノ右規定ニ適合セル範圍(平和條約第四百八條ニ依リ國際労働事務局ニ提出スル年報ノ様式又ハ其ノ他ノ適當ナル様式ニ依ル)

第四 監督官ノ權限、權能及職務

(イ) 監督ノ權限

總會ハ左ノ通勸告ス

十 監督機關ハ其ノ資格ヲ證明スルトキハ國內法ニ依リ左ノ權限ヲ付與セラルベキコト

(イ) 當該國ノ國旗ヲ掲グル船舶ヲ自國又ハ外國ノ領水ニ於テ及國內法ニ依リ定メラルル特別ノ場合ニハ管海機關ノ認許ニ依リ海上ニ於テ晝間又ハ夜間豫告ナクシテ臨檢スルコト但シ實際ニ於テ臨檢ノ時及方法ハ船舶ノ行動ニ對スル重大ナル不便ヲ能フ限リ避クル様定メラルベキモノトス

(ロ) 乗組員其ノ他ノ者ニシテ其ノ證言ガ望マシト認メラルル者ヲ立會人ナクシテ尋問スルコト、必要ト判斷セラルル取調ヲ爲スコト及法令又ハ規則ニ依リ備附ヲ要スル船舶書類ガ監督ヲ受クベキ事項ニ關係アルトキハ右書類ノ提出ヲ要求スルコト

十一 監督官ハ其ノ職務執行中知得タル商業上ノ秘密ヲ漏洩セザルノ義務ヲ宣誓ニ依リ又ハ各國ニ於ケル行政上ノ慣行若ハ慣習ニ適合スル其ノ他ノ方法ニ依リ負ハシメラルベク之ニ違反シタルトキハ刑罰又ハ適當ナル懲戒處分ニ處セラルベキコトヲ國內法ニ於テ定ムベキコト

(ロ) 強制ノ權能

總會ハ左ノ通勸告ス

十二 監督機關ハ乗組員ノ健康又ハ安全ガ危險ニ瀕セル重大ナル場合ニ於テハ法令ニ適合スル爲必要ナル措置ガ船中ニ於テ執ララル迄管海機關ノ正式ノ認許ニ依リ船舶ノ出港ヲ禁止スル權限ヲ付與セラルベキコト尤モ右ニ付テハ各國ノ法令ニ從ヒ上級行政機關又ハ權限アル裁判所ニ出訴スルコトヲ得ルモノトス

十三 船舶ノ出港禁止ハ特別重大ナル措置ト認メラルベク右ノ措置ハ法令ノ遵守ヲ確保スル爲監督機關ノ有スル其ノ他ノ法律上ノ手段ヲ用ヒタルモ其ノ效果ナカリシ場合ニ於テ最後ノ手段トシテ

ノミ用ヒラルベキコト

十四 監督機關ハ海員ノ勞働狀態ニ關スル法令及規則ノ遵守ヲ確保スル爲命令ヲ發スル權限ヲ特殊ノ場合ニ於テ付與セラルベキコト尤モ右ニ付テハ各國ノ法令ニ從ヒ上級行政機關又ハ權限アル裁判所ニ出訴スルコトヲ得ルモノトス

十五 海員ノ勞働狀態ニ關スル法令若ハ規則ニ定ムル一定ノ規定ガ實質上遵守セラレタルカ又ハ當該場合ノ狀況ニ依リ右規定ノ遵守ガ不必要ナルコト且何レノ場合ニ於テモ右規定ノ事項ニ關シ執ラレタル措置若ハ爲サレタル施設ガ現實ニ右規定ヲ遵守スルト同様ニ有效ナルカ又ハ之ヨリ一層有效ナルコトヲ中央機關ニ於テ認ムルトキハ右機關ハ特殊ノ場合ニ於テ右規定ニ從ハザルコトヲ許容スルノ權限ヲ付與セラルベキコト

(ハ) 監督請求ノ權利

總會ハ左ノ通勸告ス

十六 船長ハ其ノ必要ト認ムル一切ノ場合ニ於テ監督ヲ請求スル權利ヲ有スベキコトヲ國內法ニ於テ定ムルコト

十七 船舶乗組員モ亦健康、船舶ノ安全又ハ海員ノ勞働狀態ニ關スル規則ニ關係アル事項ニ付監督

ヲ請求スル權利ヲ所定ノ條件ニ從ヒ有スベキコトヲ國內法ニ於テ定ムルコト
(ニ) 船舶所有者及海員ト監督機關トノ協力

總會ハ左ノ通勸告ス

協力方法

十八 各國ノ行政上ノ慣行ニ適合スル範圍ニ於テ且最適當ト認メラルル方法ニ依リ船舶所有者及海

員ハ海員ノ勞働狀態ニ關スル法令及規則ノ實施ノ監督ニ協力スルコトヲ要求セラレベキコト

殊ニ總會ハ左ノ協力方法ニ付各國ノ注意ヲ促ス

法令違反ノ通報

(イ) 海員ノ使用セララルル船中ニ於ケル法令違反ヲ直接ニ又ハ正式ニ授權セラレタル代理者ヲ經テ

自由ニ監督機關ニ通報スル爲有ラユル便宜ヲ海員ニ與フベキコト、監督機關ハ右ノ異議事項ヲ

能フ限リ迅速ニ取調ブベキコト及右ノ異議ハ監督機關之ヲ絶對祕密トシテ取扱フベキコトヲ緊

要トス

(ロ) 船舶所有者及海員竝ニ其ノ各自ノ團體ト監督機關トノ完全ナル協力ヲ確保スル爲且海員ノ健

康及安全ニ關スル狀態ヲ改善スル爲監督機關ハ此等ノ目的ヲ達成スル最善ノ手段ニ付船舶所有

者團體及海員團體ノ各代表者ト隨時協議スベキコトヲ望マシトス又船舶所有者及海員ノ聯合委

員會ヲ設置スベキコト竝ニ右委員會ヲシテ海員ノ勞働狀態ニ關スル法令及規則ノ實施ヲ監督ス

海員ノ健康及安全ニ關スル狀態ヲ改善スル爲ニ付テハ協同ノ手段ヲ採ル

(ホ) 保障

總會ハ左ノ通勸告ス

監督官ノ資格

十九 船舶所有者及海員雙方ノ充分ナル信任ヲ受クル者ヲ監督官ニ任命スベキコト從テ右ノ者ハ左

ノ資格ヲ有スベキコト

(イ) 職務執行ニ付絶對ノ公平ヲ確保スルニ必要ナル資格

(ロ) 職務執行ニ付必要ナル専門的資格

監督官中ニハ海上ニ於テ勤務シタル者ニシテ行政機關ノ裁量ニ依リ恆久的資格又ハ一時的資格ニ於テ任命セラレタル者ヲ含ムコト望マシトス

二十 監督官ハ必要アルトキハ船舶所有者及海員ノ充分ナル信任ヲ受クル有能ナル専門家ノ援助ヲ

其ノ職務ニ付受クベキコト

二十一 監督官ハ政府ノ更迭ニ關係ナキ地位ニ在ル官吏タルベキコト

二十二 監督官ハ其ノ監督ノ下ニ在ル企業ニ付如何ナル金錢上ノ關係ヲモ有スルコトヲ禁止セラレ

ベキコト

監督官ハ金錢上ノ關係ヲ有スルコトヲ得ス

監督官ノ獨立

監督官ノ職務ニ付テハ専門家ノ援助ヲ受クベキコト

海員保護ノ
改良及
豫防ノ
力對スル
助

難破及船
中災害
右ノ調査
力ヲ提出
ノ權限

海員保護
ノ法令
則ノ起
料ノ準備
協力ヲ給

(一) 其ノ他ノ職務

總會ハ左ノ通勸告ス

二十三 監督官ハ其ノ職務ノ性質上海員ノ勞働狀態ニ關スル法令及規則ノ施行ノ實際上ノ結果ヲ觀

察スル特殊ノ機會ヲ有スルヲ以テ海員ノ保護ニ關スル法制ノ改善ニ助力シ且災害豫防ヲ促進スル

ニ付能フ限り有效ナル援助ヲ與フルコトヲ各國ノ行政上ノ方法ニ適合スル範圍ニ於テ求メラルベ

キコト

二十四 各國ノ行政上ノ慣行ニ適合スル範圍ニ於テ監督官ハ難破及船中災害ノ調査ニ協力スルコト

ヲ求メラルベキコト竝ニ監督官ハ必要アル場合ニ於テハ右調査ノ結果ニ關スル報告ヲ提出スル權

限ヲ付與セラルベキコト

二十五 各國ノ行政上ノ方法ニ適合スル範圍ニ於テ監督官ハ海員ノ保護ニ關スル法令及規則ノ起草

ノ準備資料ノ供給ニ付協力スルコトヲ求メラルベキコト

漁夫ノ送還ニ關スル決議

送還委員會ハ外國ノ港ニ於テ下船セシメラル漁夫ノ送還ヲ確保スルニ必要ナル手段ヲ採ル爲未タ
之ヲ實行セサル總テノ海事國ノ政府ヲ招集スルノ決議ヲ採擇スルコトヲ總會ニ要求ス漁夫ト稱スルハ
其ノ資格ノ如何ヲ問ハス漁船内ニ使用セラルル總テノ者ヲ包含スルモノト解ス

要事會ニ奉命ス
次九ニ附スルニハ、同業者ニ限リテ、本業ニハ、本國労働會議ノ最良ノ會議ノ範圍ニ入ルベキコトヲ
其後諸案ニ關シテ、本會議決案ノ範圍ニ入ルベキコトヲ、其後諸案ニハ、同業者ニ限リテ、本業ニハ、本國労働會議ノ最良ノ會議ノ範圍ニ入ルベキコトヲ
又其後諸案ニ關シテ、本會議決案ノ範圍ニ入ルベキコトヲ、其後諸案ニハ、同業者ニ限リテ、本業ニハ、本國労働會議ノ最良ノ會議ノ範圍ニ入ルベキコトヲ
同業者ニ限リテ、本業ニハ、本國労働會議ノ最良ノ會議ノ範圍ニ入ルベキコトヲ、其後諸案ニハ、同業者ニ限リテ、本業ニハ、本國労働會議ノ最良ノ會議ノ範圍ニ入ルベキコトヲ

海綿採取業従事者等ニ關スル決議

海綿採取業従事者等ニ關スル決議

希臘労働者側顧問「ラムブリノボウロス」氏ハ海綿採取業従事者ノ労働力特ニ危険ニシテ不健康ナルモノアリト爲シ六月二十三日ノ總會ニ一ノ決議案ヲ提出シタル處「キニバ」労働者側代表「ドメネック」氏ヨリ海綿採取業ノ外ニ眞珠、珊瑚及一般海底漁獲物採取業ヲモ加フヘシトスルノ動議ノ提出アリ結局總會ニ依リ左ノ決議可決セラレタリ

目下ノ狀況ニ於テハ海綿、一切ノ種類ノ眞珠、珊瑚及一般海底漁獲物採取業カ行政上其ノ他ノ監督ノ範圍外ニ於テ行ハレ從テ従事者ノ虐使行ハルルニ因リ

右ノ殊ニ不健康ニシテ危険ナル職業ハ之ニ従事スル者ノ間ニ多數ノ犠牲者ヲ生スルモノナルニ因リ國際労働總會ノ第九回會議ハ右労働者保護ノ最善ノ手段ヲ決定スルノ目的ヲ以テ右ノ作業ノ行ハルル状態ニ關スル情報ヲ蒐集スルコトヲ國際労働事務局ニ要求ス

海員ニ於ケル福利ニ關スル決議
海員ノ福利ニ關スル他ノ諸問題ト共ニ聯合海事委員會ノ調査ニ付セラレ同委員會ニ於テハ船主側「サルヴェセン」氏（諾威）及海員側「ハヅロック、ウイルソン」氏（英國）ヲ特別委員ニ指名シ調査ヲ續行セシメタル處特別委員ヨリ長文ノ報告書ノ提出アリタルカ右ニ關シ今般加奈陀使用者代表「コップ」氏ノ威使用者側顧問「サルヴェセン」氏及佛國勞働者側代表「リヴェルリ」氏ノ名ヲ以テ六月二十三日總會ニ左ノ決議案ヲ提出シ可決セラレタリ

港内ニ於ケル海員ノ福利ニ關スル決議

港内ニ於ケル海員ノ福利ニ關スル決議

千九百二十年「ゼノア」勞働總會ハ海員ノ花柳病防止ニ關スル決議ヲ採擇シタルカ其ノ後此ノ問題ハ海員ノ福利ニ關スル他ノ諸問題ト共ニ聯合海事委員會ノ調査ニ付セラレ同委員會ニ於テハ船主側「サルヴェセン」氏（諾威）及海員側「ハヅロック、ウイルソン」氏（英國）ヲ特別委員ニ指名シ調査ヲ續行セシメタル處特別委員ヨリ長文ノ報告書ノ提出アリタルカ右ニ關シ今般加奈陀使用者代表「コップ」氏ノ威使用者側顧問「サルヴェセン」氏及佛國勞働者側代表「リヴェルリ」氏ノ名ヲ以テ六月二十三日總會ニ左ノ決議案ヲ提出シ可決セラレタリ

總會ハ

港内ニ於ケル海員ノ福利ニ關スル委員會ノ報告書ヲ審査シタル上左ノ通決議ス

- (一) 海員ノ福利ニ關スル調査ヲ繼續シ且國際勞働機關ノ各締盟國政府ニ前記ノ報告書ヲ送付スルコトヲ國際勞働事務局ニ命令ス
- (二) 右問題ヲ勸告採擇ノ目的ヲ以テ近キ將來ノ總會ノ會議事項ニ加フルノ能否ヲ考究スルコトヲ勞働理事會ニ要求ス

同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ノ勞働編

第十三編 勞働

第一款

勞働機關

前文

國際聯盟ハ世界平和ノ確立ヲ目的トシ而シテ世界平和ハ社會正義ヲ基礎トスル場合ニ於テノミ之ヲ確立シ得ヘキモノナルニ因リ

多數ノ人民ニ對スル不正、困苦及窮乏ヲ伴フ現今ノ勞働狀態ハ大ナル不安ヲ醸生シ惹テ世界ノ平和協調ヲ危殆ナラシムヘキニ因リ彼ノ勞働時間ノ制定殊ニ一日又ハ一週ノ最長勞働時間ノ限定、勞働供給ノ調節、失業ノ防止、相應ノ生活ヲ支フルニ足ル賃銀ノ制定、勞務傷害及疾病ニ對スル勞働者ノ保護、兒童年少者及婦人ノ保護、老年及癱疾ニ對スル施設、自國外ニ於テ使用セララルル勞働者ノ利益ノ保護、結社自由ノ原則ノ承認、職業及技術教育ノ組織等ノ如キ手段ヲ以テ前記勞働狀態ヲ改善スルコ

トハ刻下ノ急務ナルニ因リ
一國ニ於テ人道的勞働條件ヲ採用セサルトキハ他ノ諸國ノ之カ改善ヲ企圖スルモノニ對シ障礙ト爲ル
ヘキニ因リ

茲ニ締約國ハ正義人道ヲ旨トシ世界恆久ノ平和ヲ確保スルノ冀望ヲ以テ左ノ諸條ヲ協定ス

第一章

機關

第三百八十七條

前文記載ノ目的ヲ達セムカ爲茲ニ常設機關ヲ設置ス

國際聯盟ノ原聯盟國ハ右常設機關ノ原締盟國タルヘク今後國際聯盟ノ聯盟國ト爲ルモノハ同時ニ右常設機關ノ締盟國タルヘキモノトス

第三百八十八條

常設機關ハ(一)締盟國代表者ノ勞働總會及(二)第三百九十三條ニ規定スル勞働理事會ノ管理ニ屬スル
國際勞働事務局ヨリ成ル

第三百八十九條

總會ノ代表者

顧問
婦人顧問

委員任命
團體トノ
協議

顧問ノ發言及表決

委員代理
ノ顧問

氏名ノ通知

委任狀ノ
審査

締盟國代表者ノ勞働總會ノ會議ハ必要ニ應シ隨時ニ且少クトモ毎年一回之ヲ開クヘシ勞働總會ハ各締盟國四名ツツノ代表者ヲ以テ之ヲ組織ス内二名ハ政府ノ代表委員、他ノ二名ハ當該國ニ於ケル使用者及勞働者ヲ各代表スル代表委員タルヘシ
各代表委員ハ顧問ヲ同伴スルコトヲ得但シ會議事項ノ各項目ニ付二名ヲ超ユルコトヲ得ス勞働總會ニ於テ特ニ婦人ニ關スル問題ヲ議スル場合ニ於テハ顧問中少クトモ一名ハ婦人タルコトヲ要ス

締盟國ハ其ノ國ニ於テ使用者又ハ勞働者ヲ最能ク代表スル産業上ノ團體カ存在スル場合ニ於テハ該團體トノ協議ニ依リ各民間代表委員及其顧問ヲ任命スルコトヲ約ス

顧問ハ之ヲ同伴スル代表委員ノ請求及總會ノ議長ノ特別ノ許可アル場合ヲ除クノ外發言スルコトヲ得ス又顧問ハ表決ヲ爲スコトヲ得ス

代表委員ハ議長宛ノ通告書ニ依リ其ノ顧問ノ一名ヲ自己ノ代理者トシテ指名スルコトヲ得顧問ハ右代理中發言シ及表決ヲ爲スコトヲ得

代表委員及其ノ顧問ノ氏名ハ各締盟國政府之ヲ國際勞働事務局ニ通知スヘシ

代表委員及其ノ顧問ノ委任狀ハ之ヲ勞働總會ノ審査ニ付スヘシ勞働總會ハ出席代表委員ノ爲シタル表

決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ本條ニ依リ任命セラレタル者ニ非スト認ムル代表委員又ハ顧問ノ列席ヲ拒絶スルコトヲ得

第三百九十條

表決權
各代表委員ハ勞働總會ニ付議セラレタル一切ノ事項ニ付各別ニ表決ヲ爲スノ權利ヲ有ス
民間代表委員中ノ一人ノ任命ナキ場合ニ出席シ發言スルコトヲ得ルモ表決ヲ爲スコトヲ得ス
締盟國任命權ヲ有スルニ拘ラス民間代表委員中ノ一名ヲ任命セサルトキハ他ノ民間代表委員ハ勞働總會ニ出席シ發言スルコトヲ得ルモ表決ヲ爲スコトヲ得ス
第三百八十九條ニ依リ勞働總會カ締盟國ノ一代表委員ノ列席ヲ拒絶シタルトキハ該代表委員ノ任命ナカリシモノト看做シ本條ノ規定ヲ適用ス

第三百九十一條

勞働總會ノ會議ハ國際聯盟本部所在地又ハ前會議ニ於テ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ總會カ議決シタル他ノ地ニ於テ之ヲ開ク

第三百九十二條

國際勞働事務局ハ聯盟機關ノ一部トシテ國際聯盟本部所在地ニ之ヲ設置ス

第三百九十三條

勞働理事會
其組織

國際勞働事務局ハ左ノ規定ニ依リ選任シタル二十四名ヲ以テ組織スル勞働理事會ノ管理ニ屬ス
勞働理事會ノ組織ハ左ノ如シ

政府ヲ代表スル者十二名

使用者ヲ代表スル勞働總會代表委員ノ選舉シタル者六名

勞働者ヲ代表スル勞働總會代表委員ノ選舉シタル者六名

政府ヲ代表スル十二名ノ中八名ハ主要産業國タル締盟國之ヲ任命シ他ノ四名ハ右八國以外ノ締盟國ノ

勞働總會政府代表委員ニ於テ之カ爲選定シタル締盟國之ヲ任命スヘシ

主要産業國カ何レナルカノ問題ハ國際聯盟ノ聯盟理事會之ヲ決定スヘシ

勞働理事會員ノ任期ハ三年トス闕員ノ補充方法其ノ他之ニ類スル事項ハ勞働總會ノ承認ヲ條件トシテ

勞働理事會之ヲ定ムルコトヲ得

勞働理事會ハ會員中ノ一名ヲ隨時ニ會長ニ選舉シ議事規則ヲ設ケ及其ノ會議ノ期日ヲ定ム臨時會議ハ

會員十名以上ノ書面請求アリタルトキハ之ヲ開クヘシ

主要産業國ノ決定
任期ノ闕員補充方法等
會長、議事規則

(註) 國際勞働總會ノ第四回會議ハ千九百二十二年十一月二日ヲ以テ開催セラレタル其ノ第十九次會議ニ於テ留保六票、八十二對

二票ヲ以テ左ノ第三百九十三條改正案ヲ採擇シタリ右改正案ハ目下「ヴェルサイユ」條約第四百二十二條ノ規定ニ從ヒ國際勞働機

關ノ締盟國ニ於テ審議中ナリ

國際勞働事務局ハ左ノ三十二名ヲ以テ組織スル勞働理事會ノ管理ニ屬ス

政府ヲ代表スル十六名

使用者ヲ代表スル八名及

勞働者ヲ代表スル八名

政府ヲ代表スル十六名ノ中八名ハ主要産業國之ヲ任命シ八名ハ右八國以外ノ締盟國ノ勞働總會政府代表委員ニ於テ之カ爲選定シタル締盟國之ヲ任命スヘシ右代表セラレタル十六國中六國ハ歐洲以外ノ國タルヘシ

主要産業國カ何レナルカノ問題ハ國際聯盟ノ聯盟理事會之ヲ決定スヘシ

使用者ヲ代表スル者及勞働者ヲ代表スル者ハ勞働總會ノ使用者代表委員及勞働者代表委員各別ニ之ヲ選舉スヘシ使用者ノ代表者二名及勞働者ノ代表者二名ハ歐洲以外ノ國ノ者タルヘシ

勞働理事會ノ任期ハ三年トス

關員補充及代理者任命ノ方法其ノ他之ニ類スル事項ハ勞働總會ノ承認ヲ條件トシテ勞働理事會之ヲ定ムルコトヲ得

勞働理事會ハ其ノ中一名ヲ隨時ニ會長ニ選舉シ議事規則ヲ設ケ及其ノ會議ノ期日ヲ定ム臨時會議ハ勞働理事會ニ於ケル代表者十二名以上ノ書面請求アリタルトキハ之ヲ開クヘシ

第三百九十四條

國際勞働事務局ニ局長ヲ置キ勞働理事會之ヲ任命ス局長ハ勞働理事會ノ指揮ヲ受ケ國際勞働事務局ノ事務及他ノ委託事務ノ遂行ニ付其ノ責ニ任ス

局長又ハ其ノ代理者ハ勞働理事會ノ一切ノ會議ニ列席スヘシ

國際勞働事務局局長

勞働事務局職員

第三百九十五條

國際勞働事務局ノ職員ハ局長之ヲ任命ス右職員ハ國際勞働事務局事務ノ成績ヲ舉クルニ差支ナキ限り成ルヘク國籍ヲ異ニスル諸國人中ヨリ之ヲ選任スヘク且其ノ若干名ハ婦人タルコトヲ要ス

第三百九十六條

國際勞働事務局ノ職能ニハ勞働者ノ生活狀態及勞働條件ノ國際的調節ニ關スル一切ノ情報ノ蒐集配布、殊ニ國際條約締結ノ目的ヲ以テ勞働總會ニ提出セムトスル事項ノ審査竝勞働總會ノ命ニ依ル特別調査ノ遂行ヲ含ムモノトス

國際勞働事務局ハ勞働總會ノ會議事項ヲ準備ス

國際勞働事務局ハ國際紛爭ニ關シ本編ノ規定ニ依リ其ノ任務ヲ行フ

國際勞働事務局ハ國際利害關係アル産業及勞務ノ問題ニ付佛文、英文其ノ他勞働理事會カ適當ト認ムル言語ヲ以テ定期刊行物ヲ編輯發行スヘシ

本條ニ定メタル職能ノ外尙國際勞働事務局ハ勞働總會ノ委託ニ係ル一切ノ權能及任務ヲ有スルモノトス

勞働事務局及任務

第三百九十七條

締盟國政府ト局長ノ通信

國際聯盟事務總長ノ助力

代表者等ノ旅費及手當其他ノ旅費

産業及勞務ノ問題ヲ管掌スル締盟國政府ノ各省ハ勞働理事會ニ於ケル當該政府ノ代表者、代表者ナキ場合ニ於テハ之カ爲政府ノ任命シタル當該官吏ヲ經由シテ直接ニ局長ト通信スルコトヲ得

第三百九十八條

國際勞働事務局ハ國際聯盟事務總長ノ助力ヲ受クルコトヲ得ヘキ事項ニ付右助力ヲ請求スルコトヲ得

第三百九十九條

勞働總會又ハ勞働理事會ノ會議ニ出席スル代表者、代表委員及其ノ顧問ノ旅費及手當ハ各締盟國之ヲ支辨ス

國際勞働事務局並勞働總會及勞働理事會ノ會議ニ關スル他ノ一切ノ費用ハ國際聯盟事務總長聯盟ノ一般資金中ヨリ之ヲ局長ニ交付ス

局長ハ本條ニ依リ交付ヲ受ケタル金錢ノ支出ニ付國際聯盟事務總長ニ對シ其ノ責ニ任スヘシ

第二章

手續

第四百條

勞働理事會ノ任務

勞働事務局局長ノ任務

勞働總會ノ會議事項ニ對スル反對

勞働總會ノ會議手續等

勞働總會ノ一切ノ會議ノ會議事項ハ勞働理事會之ヲ決定ス勞働理事會ハ締盟國ノ政府又ハ第三百八十九條ノ目的ノ爲承認セラレタル代表團體ノ提出スル會議事項ノ案ヲ審議スヘシ

第四百一條

局長ハ勞働總會ノ幹事トシテ行動ス會議事項ハ勞働總會ノ開催前四月迄ニ之ヲ各締盟國ニ送達スヘシ民間代表委員ノ選任アリタル場合ニ於テハ當該締盟國ヲ經由シテ之ニ送達スヘシ

第四百二條

締盟國政府ハ勞働總會ノ會議事項中或項目ノ存置ニ對シ反對ヲ述フルノ權ヲ有ス右反對ノ理由ハ局長宛ノ説明書ニ之ヲ記載スヘク局長ハ之ヲ本常設機關ノ各締盟國ニ送付スヘシ

尤モ前記ノ反對アリタル項目ト雖勞働總會ニ於テ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ審議スヘキモノト議決シタルトキハ之ヲ會議事項中ヨリ削除スルコトヲ得ス

前項ノ外勞働總會ニ於テ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ或事項ヲ審議スヘキ旨ヲ議決シタルトキハ該事項ハ之ヲ次期會議ノ事項中ニ加フヘシ

第四百三條

勞働總會ハ自ら會議手續ヲ定メ及議長ヲ選舉スヘシ又各種ノ事項ニ付審査報告ヲ爲サシムル爲委員會

ヲ組織スルコトヲ得
本編ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外一切ノ事項ハ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ單純多數ニ依リ之
ヲ決ス

爲サレタル表決ノ總數カ勞働總會出席代表委員ノ半數ニ達セサルトキハ採決ハ之ヲ無効トス

第四百四條

勞働總會ハ其ノ組織シタル各委員會ニ專門委員ヲ附屬セシムルコトヲ得專門委員ハ審議ニ參加シ表決
權ヲ有セス

第四百五條

勞働總會ニ於テ會議事項中ノ或項目ニ關シ提案ヲ可決シタルトキハ勞働總會ハ該提案ニ付(イ)締盟國
ヲシテ立法其ノ他ノ方法ニ依リ之カ實現ヲ爲サシムル目的ヲ以テ考慮セシムル爲該締盟國ニ送付スル
勸告又ハ(ロ)締盟國ニ依リ批准セラルヘキ國際條約案ノ孰レノ形式ニ依ルヘキカヲ決定ス
勞働總會ニ於テ前項ノ勸告又ハ條約案ヲ可決確定スル爲ニハ孰レノ場合ニ於テモ出席代表委員ノ爲シ
タル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ要ス

締盟國一般ニ適用スヘキ勸告又ハ條約案ヲ立案スル場合ニ於テハ勞働總會ハ氣候ノ狀態、産業組織ノ

勸告又ハ
條約案ノ
形式ニ關
スル決定
其他

不十分ナル發達其ノ他特殊ノ事情ニ因リ産業狀態著シキ差異アル國ニ關シ相當斟酌ヲ加フヘク且斯ノ
如キ國ノ事情ニ適應セシムル爲必要ト認ムルモノアルトキハ右勸告又ハ條約案ニ加フヘキ變更ヲ提示
スヘシ

勸告又ハ條約案ハ勞働總會ノ議長及局長其ノ一通ニ署名シテ之ヲ確認シ國際聯盟事務總長ニ寄託スヘ
ク事務總長ハ其ノ勸告又ハ條約案ノ認證謄本ヲ各締盟國ニ送付スヘシ

締盟各國ハ勞働總會閉會後一年以内ニ立法其ノ他ノ措置ヲ執ルカ爲右ノ勸告又ハ條約案ヲ其ノ事項ニ
付權限アル機關ノ議ニ付スヘキコトヲ約ス但シ已ムヲ得サル事情ノ爲右期間内ニ其ノ議ニ付スルコト
能ハサルトキハ成ルヘク速ニ且如何ナル場合ニ於テモ勞働總會閉會後十八月ヲ超エサル期間内ニ之ヲ
爲スコトヲ要ス

勸告ニ付テハ締盟國ハ之ニ關シ執リタル措置ヲ事務總長ニ通知スヘシ

條約案ニ付テハ締盟國ニ於テ其ノ事項ニ關シ權限アル機關ノ同意ヲ得タル場合ニ於テハ右條約ノ正式
批准ヲ事務總長ニ通告シ且右條約ノ規定ノ實施ニ必要ナル措置ヲ執ルヘシ

勸告ニ付其ノ實現ニ必要ナル立法其ノ他ノ措置ヲ執ルコトナカリシ場合又ハ條約案ニ付其ノ事項ニ關
シ權限アル機關ノ同意ヲ得サリシ場合ニ於テハ締盟國ハ他ノ何等ノ義務ヲ負フコトナシ

勞働事項ニ關スル條約ニ加盟スルノ權能ニ制限アル聯邦國ニ在リテハ當該國政府ハ其ノ裁量ニ依リ右制限ノ適用アル條約案ヲ單ニ勸告ト認ムルコトヲ得此ノ場合ニハ勸告ニ關スル本條ノ規定ヲ準用ス本條ハ左ノ原則ニ從ヒ之ヲ解釋スヘシ
締盟國ハ如何ナル場合ニ於テモ勞働總會カ或勸告又ハ條約案ヲ採用シタル結果トシテ其ノ國ノ現行法制上當該勞働者ニ與ヘタル保護ノ減殺ヲ要求セラルルコトナカルヘシ

第四百六條

右ニ依リ批准セラレタル一切ノ條約ハ國際聯盟事務總長之ヲ登録スヘシ該條約ハ之ヲ批准シタル締盟國ノミヲ拘束スヘシ

第四百七條

條約案カ勞働總會ノ最終審議ニ付セラレタル場合ニ於テ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ同意ヲ得サリシトキト雖本常設機關ノ締盟國ハ右條約案ヲ希望スル各國間ニ於テノミ之ヲ採用スルノ權ヲ有ス

第四百八條

右ニ依リ採用シタル條約ハ當該國政府國際聯盟事務總長ニ之ヲ通知シ事務總長ハ之ヲ登録スヘシ

條約ノ批准登録

不成立條約案ノ採用

年報

各締盟國ハ其ノ締結シタル條約ノ規定實施ノ爲執リタル措置ニ關スル年報ヲ國際勞働事務局ニ提出スルコトヲ約ス該年報ノ様式及記載事項ハ勞働理事會ノ指定スル所ニ依ル局長ハ該年報ノ要領ヲ勞働總會ノ次期會議ニ報告スヘシ

第四百九條

使用者又ハ勞働者ノ組織スル産業上ノ團體ヨリ國際勞働事務局ニ對シ締盟國ノ一國カ其ノ締結シタル條約ニ付其ノ管轄内ニ於テ確實ナル履行ヲ爲ササルコトヲ申告シタル場合ニ於テハ勞働理事會ハ其ノ申告ヲ當該國政府ニ移牒シ且右ニ付其ノ相當ト認ムル辯明書ノ提出ヲ勸誘スルコトヲ得

第四百十條

勞働理事會ハ當該國政府ヨリ相當期間内ニ辯明書ヲ接受セス又ハ其ノ接受シタル辯明書ヲ不充分ト認ムル場合ニ於テハ右申告書及之ニ對スル辯明書アルトキハ其ノ辯明書ヲ公表スルノ權ヲ有ス

第四百十一條

各締盟國ハ他ノ締盟國カ前數條ニ依リ共ニ批准シタル條約ノ確實ナル履行ヲ爲サスト認ムル場合ニ於テハ國際勞働事務局ニ對シ異議ヲ提起スルノ權ヲ有ス
勞働理事會ハ以下規定スル所ニ從ヒテ右ノ異議ヲ勞働審理委員會ニ付スルニ先テ其ノ裁量ニ依リ第四

條約不履行ノ申告

辯明書

條約不履行ニ對スル異議

百九條ノ定ムル方法ニ準シ右異議ノ相手國政府ニ之ヲ移牒スルコトヲ得
勞働理事會ハ右異議ヲ相手國政府ニ移牒スルノ必要ヲ認メサルトキ又ハ右移牒ヲ爲シタル場合ニ於テ
其ノ充分ト認ムル辯明書ヲ相當期間内ニ接受セサルトキハ該異議ノ審査及之ニ關スル報告ヲ爲サシム
ル爲勞働審理委員會ノ設置ヲ求ムルコトヲ得

勞働理事會ハ其ノ發意ニ依リ又ハ勞働總會ノ代表委員ノ異議ニ基キ同一ノ手續ヲ爲スコトヲ得
勞働理事會第四百十條又ハ第四百十一條ノ適用ヨリ生スル問題ヲ審議スルニ當リ申告又ハ異議ノ相手
國政府カ勞働理事會ニ其ノ代表者ヲ有セサル場合ニ於テハ該政府ハ其ノ審議中勞働理事會ノ議事ニ參
加セシムル爲代表者ヲ出スノ權ヲ有ス審議ノ期日ハ該國政府ニ對シ適當ノ時期ニ之ヲ通知スヘシ

第四百十二條

勞働審理
委員會

勞働審理委員會ハ左ノ規定ニ依リ之ヲ組織ス
各締盟國ハ本條約實施後六月以内ニ産業上ノ經驗アル者三名ヲ任命スルコトヲ約ス内一名ハ使用者ノ
代表者、一名ハ勞働者ノ代表者、他ノ一名ハ中立ノ地位ニ在ル者タルヘシ勞働審理委員會ノ委員ハ右
任命セラレタル者ノ名簿中ヨリ之ヲ選定スヘシ
右任命セラレタル者ノ資格ハ勞働理事會之ヲ審査ス勞働理事會ハ資格カ本條ノ要件ニ適合セスト認ム

ル者ノ任命ニ對シ出席代表者ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ承認ヲ拒ムコトヲ得
勞働理事會ノ請求アリタルトキハ國際聯盟事務總長ハ勞働審理委員會ヲ組織セシムル爲前記名簿ノ各
部ヨリ一名ツツ三名ヲ選定シ内一名ヲシテ之カ議長タラシムヘシ右三名ハ何レモ直接ニ異議ニ關係ア
ル締盟國ノ任命シタル者ナラサルコトヲ要ス

第四百十三條

第四百十一條ニ依リ異議カ勞働審理委員會ニ付セラレタル場合ニ於テハ各締盟國ハ直接之ニ關係アル
ト否トニ拘ラス該異議事項ニ付其ノ有スル一切ノ資料ヲ勞働審理委員會ニ提供スルコトヲ約ス

第四百十四條

勞働審理委員會異議ニ付充分ナル審査ヲ了シタルトキハ之ニ關スル報告書ヲ作成スヘシ報告書ニハ係
争問題ノ決定ニ關係アル一切ノ事實ノ認定並該異議ニ對シ取ルヘキ處置及之カ實行期限ニ關シ適當ト
認ムル勸告ヲ記載スルモノトス

勞働審理委員會ハ又勸告ヲ實行セサル政府ニ對スル適當ナル經濟的制裁手段ニシテ他ノ諸政府之ヲ採
用シテ可ナリト認ムルモノアル場合ニ於テハ之ヲ其ノ報告書中ニ指示スヘシ

第四百十五條

異議ニ對
スル審査
資料ノ提
供

審理委員
會ノ報告
書

報告書ノ
送付公表
等

國際聯盟事務總長ハ勞働審理委員會ノ報告書ヲ異議ニ關係アル各國政府ニ送付シ又之ヲ公表セシムヘシ

前項ノ送付ヲ受ケタル各國政府ハ勞働審理委員會ノ報告書ニ記載スル勸告ヲ採用スルヤ否ヤ、若シ之ヲ採用セストセハ當該異議ニ付國際聯盟ノ常設國際司法裁判所ノ裁判ヲ求ムルノ意思アリヤ否ヤヲ一月以内ニ國際聯盟事務總長ニ通告スヘシ

第四百十六條

締盟國中勸告又ハ條約案ニ關シ第四百五條ニ依ル措置ヲ執ラサル者アル場合ニ於テハ他ノ締盟國ハ右ニ付常設國際司法裁判所ノ裁判ヲ求ムルノ權ヲ有ス

第四百十七條

第四百十五條又ハ第四百十六條ニ依リ常設國際司法裁判所カ裁判ヲ求メラレタル異議又ハ他ノ事項ニ付其ノ爲シタル判決ハ終結トス

第四百十八條

常設國際司法裁判所ハ勞働審理委員會ノ爲シタル事實ノ認定又ハ勸告アル場合ニ於テハ之ヲ確認シ、變更シ又ハ廢棄スルコトヲ得勸告ヲ實行セサル政府ニ對スル適當ナル經濟的制裁手段ニシテ他ノ諸政

國際司法
裁判所ノ
裁判

右判決ノ
效力

右判決ノ
内容

經濟的制
裁

勸告不實
行ノ政府
反省ノ場
合

府之ヲ採用シテ可ナリト認ムルモノアル場合ニ於テハ之ヲ該判決中ニ指示スヘシ

第四百十九條

勞働審理委員會ノ報告書又ハ常設國際司法裁判所ノ判決中ニ勸告ノ記載アル場合ニ於テ締盟國カ其ノ勸告ヲ所定ノ期間内ニ實行セサルトキハ他ノ各締盟國ハ右勸告ヲ實行セサル國ニ對シ前記ノ報告書又ハ判決中ニ適當ナリトシテ指示シタル經濟的制裁手段ヲ執ルコトヲ得

第四百二十條

勸告ヲ實行セサル政府ハ勞働審理委員會ノ勸告又ハ常設國際司法裁判所判決中ノ勸告ニ遵由スルニ必要ナル處置ヲ執リタル旨何時タリトモ勞働理事會ニ通知シ且其ノ通知ノ内容ヲ確ムル爲勞働審理委員會ノ開設ヲ國際聯盟事務總長ニ申立ツルコトヲ勞働理事會ニ請求スルコトヲ得第四百十二條乃至第四百十五條、第四百十七條及第四百十八條ノ規定ハ右ノ場合ニ之ヲ適用ス勞働審理委員會又ハ常設國際司法裁判所カ當該政府ニ對シ有利ナル報告又ハ判決ヲ爲シタル場合ニ於テハ他ノ諸政府ハ直ニ之ニ對スル經濟的制裁手段ヲ停止スヘシ

第三章

一般規定

殖民地等
=對スル
條約ノ適
合

第四百二十一條

締盟國ハ本編ノ規定ニ依リ批准シタル諸條約ヲ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ左ノ條件ノ下ニ適用スルコトヲ約ス

一 條約カ土地ノ狀況ニ照シ適用不可能ニ非サルコト

二 土地ノ狀況ニ適應セシムル爲條約ニ必要ナル變更ヲ加フルコト

締盟國ハ其ノ殖民地、保護國及屬地ニシテ完全ナル自治ヲ有セサルモノニ付其ノ執リタル措置ヲ國際勞働事務局ニ通告スヘシ

第四百二十二條

本編ノ改正ハ勞働總會ニ於テ出席代表委員ノ爲シタル表決ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ之ヲ可決シ國際聯盟理事會ヲ組織スル代表者ノ屬スル各國及總數四分ノ三ノ締盟國之ヲ批准シタル場合ニ於テ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第四百二十三條

本編ノ解釋又ハ締盟國間ニ於テ將來本編ノ規定ニ基キ締結スル條約ノ解釋ニ關スル疑義又ハ紛争ハ之ヲ常設國際司法裁判所ノ裁判ニ付スヘキモノトス

本編ノ解
釋等ノ決
定

本編ノ改
正

第四章
經過規定

第四百二十四條

勞働總會ノ第一回會議ハ千九百十九年十月之ヲ開クヘシ會議ノ地及會議事項ハ附屬書ニ之ヲ定ム

第一回會議ノ召集及組織ハ右附屬書ニ指定スル政府之ヲ準備ス該政府ハ勞働總會ニ提出スヘキ書類ノ作成ニ付同附屬書ニ依リ組織シタル國際準備委員會ノ助力ヲ受クヘシ

第一回會議ノ經費及國際聯盟カ一般資金ヲ設定シ得ルニ至ル迄ニ開催スル爾後ノ會議ノ經費ハ代表委員及其ノ顧問ノ經費ヲ除クノ外萬國郵便聯合總管理局ノ經費分擔ノ割合ニ從ヒ締盟國之ヲ負擔ス

第四百二十五條

本款ノ規定ニ依リ國際聯盟事務總長ニ提出スヘキ一切ノ書類ハ國際聯盟ノ組織セララル迄ノ間國際勞働事務局長之ヲ保管シ追テ國際聯盟事務總長ニ之ヲ引繼クヘシ

第四百二十六條

本編ノ規定ニ依リ常設國際司法裁判所ノ裁判ヲ求ムヘキ紛争ハ該裁判所ノ開設ニ至ル迄ノ間國際聯盟理事會選定ノ三名ヲ以テ組織スル裁判所ニ之ヲ付託スヘシ

常設國際
司法裁判
所開設規
定ノ經過

書類ノ處
理

同會ノ經
費等

第一回總
會ノ開催
同會ノ招
集及組織

附 屬 書

千九百十九年第一回勞働總會會議

會議ノ地ハ華盛頓トス

會議ノ招集ハ亞米利加合衆國政府ニ之ヲ委囑ス

會議ノ地
會議ノ招
集
國際準備
委員會

國際準備委員會ハ亞米利加合衆國、大不列顛國、佛蘭西國、伊太利國、日本國、白耳義國及瑞西國ノ任命スル七名ノ委員ヲ以テ之ヲ組織ス右委員會ハ必要ト認ムルトキハ前記以外ノ締盟國ニ對シ代表者ノ任命ヲ求ムルコトヲ得

會議事項

會議事項

一 一日八時間又ハ一週四十八時間ノ原則ノ適用ノ件

二 失業ニ對スル豫防又ハ救濟ノ件

三 婦人使用ノ件

(イ) 産前産後(産婦ニ對スル手當問題ヲ含ム)

(ロ) 夜間

(ハ) 健康上有害ナル作業

四 兒童使用ノ件

(イ) 使用ノ最低年齢

(ロ) 夜間

(ハ) 健康上有害ナル作業

五 産業ニ使用セララルル婦人ノ夜業ノ禁止及燐寸製造ニ於ケル黄燐使用ノ禁止ニ關スル千九百六年

「ベルヌ」國際條約ノ擴張及適用ノ件

第二 款

一 般 原 則

第四百二十七條

賃銀生活
者ノ福祉
ノ達成

勞働ニ關
スル根本
原則

締約國ハ産業ニ従事スル賃銀生活者ノ身體上、道德上及智能上ノ福祉ハ最重要ナル國際事項ナリト認メ此ノ大ナル目的ノ爲茲ニ國際聯盟ノ機關ト相待チテ第一款ニ規定スル常設機關ヲ組織シタリ

締約國ハ氣候、慣行及習俗、經濟上ノ機會並産業上ノ因襲ノ相異ハ勞働條件ノ劃一ヲ急速ニ實現スルコトヲ困難ナラシムルモノト認ム然レトモ締約國ハ現ニ勞働力單ナル商品ト看做サルヘキモノニ非スト認ムルカ故ニ勞働條件ヲ規律スル方法及原則ニシテ一切ノ産業國カ各自ノ特殊事情ノ許ス限リ之カ

適用ヲカムヘキモノイ存スルヲ認ム

締約國ニ於テハ右方法及原則中左ニ掲クルモノヲ以テ特別且緊急ノ必要アルモノト認ム

- 一 労働ハ單ニ貨物又ハ商品ト認ムヘキモノニ非ストノ前記ノ基本原則
- 二 使用者又ハ被用者カ一切ノ適法ナル目的ノ爲結社スルノ權利
- 三 其ノ時及其ノ國ニ於テ相當ト認メラルル生活程度ヲ維持スルニ足ル賃銀ヲ被用者ニ支拂フヘキコト
- 四 一日八時間又ハ一週四十八時間ノ制ヲ實行スルニ至ラサル諸國ニ於テハ之ヲ其ノ到達ノ目標トシテ採用スヘキコト
- 五 日曜日ヲ成ルヘク包含シ二十四時間ヲ下ラサル毎週一回ノ休息ヲ與フルノ制ヲ採用スヘキコト
- 六 兒童労働ヲ廢止スヘキコト及年少者ノ労働ニ對シ其ノ教育ヲ繼續スルコトヲ得且身體ノ正當ナル發達ヲ確保スヘキ制限ヲ設クヘキコト
- 七 同一價值ノ労働ニ對シテハ男女同額ノ報酬ヲ受クヘキ原則
- 八 各國カ其ノ法令ニ依リ定ムル労働條件ニ關スル標準ハ適法ニ其ノ國ニ居住スル一切ノ労働者ニ對スル衡平ナル經濟上ノ待遇ヲ確保スヘキコト

九 各國ハ被用者ノ保護ヲ目的トスル法令ヲ勵行スル爲監督ノ制度ヲ設ケ婦人ヲシテ之ニ參加セシムヘキコト

締約國ハ前記ノ方法及原則ヲ以テ完全不易ノモノト主張セスト雖右ハ國際聯盟ノ政策ヲ指導スルニ適切ナルコトヲ信シ若シ國際聯盟國タル各產業國ニシテ之ヲ採用シ且妥當ナル監督ノ制度ニ依リテ其ノ實行ヲ保障スルニ於テハ必ス世界ノ賃銀生活者ノ上ニ恆久ノ福利ヲ齎スヘキコトヲ疑ハス

本
大
實行マ
國大
制
大
大

勞働總會議事規則

第一條 總會ノ構成

- 一、總會ハ國際勞働機關ノ締盟國ニ依リ適法ニ任命セラレタル凡テノ代表委員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 二、各代表委員ハ顧問ヲ同伴スルコトヲ得該顧問ハ當該會議ノ會議事項ノ各項目ニ付二名ヲ超ユルコトヲ得ス
- 三、代表委員及其ノ顧問ノ總會議場ニ於ケル議席ハ勞働理事會之ヲ定ム

第二條 總會ノ假役員

總會ハ國際勞働事務局ノ理事會長該理事會ノ其ノ他ノ役員ノ助力ヲ受ケ之ヲ開會ス右假役員ハ總會ノ議長其ノ職ニ就クニ至ル迄引續キ其ノ職務ヲ執ル

第三條 委任狀ノ審査

- 一、代表委員其ノ顧問ノ委任狀ハ總會ノ當該會議ノ遅クトモ開會期日十五日前ニ之ヲ國際勞働事務局ニ寄託スヘシ
- 二、勞働理事會長ノ作成ニ係ル右委任狀ニ關スル概要報告ハ委任狀ト共ニ總會會議開會ノ前日之ヲ代

- 一、表委員ノ閣查ニ付スヘシ該報告ハ第一回會議ノ議事録附録トシテ之ヲ公表スヘシ
- 二、代表委員又ハ顧問ノ任命ニ關シ提起スル異議ハ總會ノ役員ニ之ヲ申立ツヘク且右役員ハ第七條(ハ)ニ定ムル資格審査委員會ニ之ヲ交付スヘシ
- 三、總會開會ノ日ヨリ四日以内ニ總會ノ役員ニ申立テラレサル異議ハ之ヲ無効トス極メテ例外ノ事情ノ爲本條第二項ニ掲クル概要報告中ニ於テ處理スヘキ時迄ニ寄託セラレサル委任狀ノ場合ニ於テハ右四日ノ期間ハ假議事録ニ於ケル代表委員氏名ノ發表ノ日ヨリ始マルモノトス但シ異議カ遠距離ノ代表ニ關シ提出セラレ從テ通信著シク遲滯スルノ止ムヲ得サルトキハ該異議ハ最終報告作成ノ日迄之ヲ受理スルモノトス
- 四、代表委員又ハ顧問ニシテ其ノ任命ニ對シ異議ノ提起アリタルモノハ其ノ列席問題ノ最終決定アル迄ノ間他ノ代表委員又ハ顧問ト同一ノ權利ヲ有ス
- 五、次テ總會ハ「ヴェルサイユ」條約第四百二條第三項ニ從ヒ該項目カ次期會議ノ會議事項ニ加ヘラルルヤ否ヤヲ決定スヘシ

第四條 總會ノ役員

- 一、總會ノ役員ハ議長一名及副議長三名トシ何レモ國籍ヲ異ニスルモノタルコトヲ要ス右役員ハ總會之ヲ選任ス婦人ハ前記何レノ役員ニモ選任セララルコトヲ得
- 二、政府、使用者及勞働者ノ代表團ハ其ノ團員中ヨリ副議長トシテ各一名ヲ指名スヘシ尤モ右ハ總會ノ同意ヲ得ルモノトス
- 三、副議長指名ノ順位ハ總會ノ會議毎ニ之ヲ變更スヘシ代表團ハ左ノ輪番ニ從ヒ指名ノ優先權ヲ有ス
 - 政府代表團、使用者代表團、勞働者代表團
- 四、右輪番ハ第五回總會ニ於ケル抽籤ノ示ス代表團ヲ以テ始マル
- 五、或代表團カ指名ノ優先權ヲ有スル代表團ノ指名スル副議長ト同一ノ國籍ヲ有スル副議長ヲ指名シタルトキハ其ノ指名ハ之ヲ無効トス

第五條 書記局

- 一、總會書記局ノ事務ハ國際勞働事務局ノ理事會ノ之カ爲任命シタル該事務局ノ局員之ヲ處理スルモノトス
- 二、國際勞働事務局ハ總會ノ書記局長タルヘク且書記局ニ付其ノ責ニ任ス該局長ハ國際勞働事務局ノ理事會ノ任命スル一名又ハ一名以上ノ副書記局長ニ依リ輔佐セララルコトヲ得
- 三、總會書記局ハ殊ニ文書、報告及決議ノ接受、印刷、配布及翻譯、會議ニ於ケル演說ノ翻譯、議事

速記録ノ調製、議事報告ノ印刷及配布、總會議事録ノ保管、當該會議確定議事録ノ刊行並一般ニ總會カ該局ニ委任スルヲ適當ナリト認ムル其ノ他ノ一切ノ事務ニ付其ノ責ニ任ス

第六條 手續

總會ノ手續ハ左ノ通トス

- 一、締盟國政府ヨリ會議事項中ノ或項目ニ對シ反對ノ申立テアリタルトキハ總會ハ理事會ノ之ニ關シ提出スル報告ヲ聽取シタル後右項目ヲ會議事項中ニ存置スヘキヤ否ヤヲ「ヴェルサイユ」條約第四百二條ニ從ヒ決定スヘシ
- 二、總會ハ第七條(ロ)ニ定ムル詮衡委員會ヲ選任スヘシ
- 三、總會ハ當該會議中且詮衡委員會ノ定ムル日ニ於テ從來ノ會議ノ決議ヲ實施スル爲執リタル措置及達成シタル結果ニ關シ國際勞働事務局長ノ提出スル報告ヲ討議スヘシ
- 四、或問題カ總會ノ會議事項ニ加ヘラレタルトキハ國際勞働事務局ハ各國ニ於ケル法令及慣行ヲ示ス準備報告ヲ總會ニ提出スヘシ右ノ報告ハ質問書案ヲ包含スヘク且總會ノ開會前事務局ニ依リ各國政府宛通告セラルヘシ
- 五、右報告ハ總會議又ハ委員會ニ於テ總會ノ一般討議ニ付セラルヘク且總會カ該事項ノ條約案又ハ勸

- 告ノ題目ヲ適當ニ成シ得ルコトヲ決定シタルトキハ右總會ハ各國政府宛通告セラルヘキ質問書ヲ能ク限リ的確ニ作成スヘシ
- 六、國際勞働事務局ハ質問書中ニ必要ナル起案上ノ變更ヲ加ヘタル上該總會ノ閉會後一月以内ニ各國政府ニ之ヲ送致スヘシ
- 七、各國政府ノ回答ニ基キ國際勞働事務局ハ條約案又ハ勸告ノ草案ヲ包含スル最終報告ヲ作成スヘシ右ノ報告ハ國際勞働事務局ニ依リ各國政府宛通告セラルヘク且可能ナルトキハ次期總會ノ開會三月前ニ之ニ到著スヘシ
- 八、總會ハ國際勞働事務局ノ作成ニ係ル條約案又ハ勸告ノ草案ヲ會議事項中ノ或項目ニ關スル討議ノ基礎トシテ採用スヘキヤ否ヤヲ決定スヘク且此等ノ條約案又ハ勸告ノ草案ヲ總會議ニ於テ審議スヘキヤ又ハ委員會ニ付託シテ報告セシムヘキヤヲ決定スヘシ右ノ決定ヲ爲スニ先チ總會議ニ於テ條約案又ハ勸告ノ草案ノ一般原則ニ關シ討論ヲ爲スコトヲ得
- 九、條約案又ハ勸告ヲ總會議ニ於テ審議スル場合ニ於テハ各條項毎ニ總會ノ採擇ニ付スヘシ總會ハ討論中及一切ノ條項ノ討議終了スル迄ハ右ノ條約案又ハ勸告ノ條項ヲ修正スル動議又ハ議事手續ニ關スル動議ノ外如何ナル動議モ之ヲ審議スルコトヲ得ス

十、條約案又ハ勸告ヲ委員會ニ付託スル場合ニ於テハ總會ハ該委員會ノ報告ヲ接受シタル後第九項ニ定ムル規則ニ從ヒ條約案又ハ勸告ノ討議ヲ行フヘシ右ノ討議ハ右報告寫ノ代表委員ニ配布セラレタルノ日ノ翌日前ニ之ヲ行フコトヲ得ス

十一、總會ハ條約案又ハ勸告ノ逐條討議中一條又ハ一條以上ヲ委員會ニ付託スルコトヲ得

十二、總會カ委員會ノ報告中存スル條約案ヲ拒否シタルトキハ代表委員ハ該條約案ヲ勸告ニ變形スルノ審議ヲ爲ス爲之ヲ委員會ニ再付託スヘキヤ否ヤヲ直ニ決定スルコトヲ總會ニ要求スルコトヲ得總會カ本件ヲ再付託スルコトヲ決定シタルトキハ委員會ノ報告ハ會議終了前之ヲ總會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムヘキモノトス

十三、總會ノ採擇スル條約案又ハ勸告ノ規定ハ確定本文作成ノ爲第七條ニ定ムル起草委員會ニ之ヲ付託スヘシ該本文ハ代表委員ニ之ヲ配布スルモノトス

十四、右本文ハ之ヲ修正スルコトヲ得サルモ議長ハ本規定ニ拘ラス起草委員會ノ修正シタル該本文配布ノ翌日中ニ書記局ニ交付セラレタル修正案ヲ三名ノ副議長ト協議ノ上總會ニ提出スルコトヲ得十五、總會ハ起草委員會ノ作成ニ係ル本文ヲ接受シタル上且前項ニ從ヒ提起セラルル修正アルトキハ之ヲ討議シタル後ニ於テ「ヴェルサイユ」條約第四百五條ニ從ヒ條約案又ハ勸告ノ採擇ニ付最終表決

ヲ採ルヘシ

十六、條約案カ最終表決ニ於テ必要ナル三分ノ二ノ多數ヲ得サルモ單純多數ヲ得タルトキハ總會ハ該條約案ヲ勸告ノ形式ニ起草セシムル爲之ヲ起草委員會ニ付託スヘキヤ否ヤヲ直ニ決定スヘシ總會起草委員會付託ヲ承認シタルトキハ條約案ニ包含セラルル提案ハ當該會議終了前勸告ノ形式ニ於テ之ヲ總會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムヘシ

十七、佛蘭西語及英吉利語正文ノ採擇セラレタル後條約案及勸告ノ公正譯文ハ關係國政府ノ要求ニ基キ國際勞働事務局長之ヲ作成シ且國際聯盟事務總長ニ之ヲ寄託スルコトヲ得條約案及勸告ノ適用ニ付當該國ニ於テ右譯文ヲ公正ノモノト認ムルヤ否ヤハ關係國政府ノ任意トス

第七條 委員會

イ、一切ノ委員會ニ適用シ得ル規定

一、總會ハ「ヴェルサイユ」條約第四百三條ニ從ヒ其ノ必要ト認ムル目的ノ爲ニ委員會ヲ設クルコトヲ得

二、各委員會ハ委員長一名及其ノ審議ノ結果ヲ總會ニ報告スル爲一名又ハ一名以上ノ報告委員ヲ任命スヘシ顧問ハ報告委員ニ任命セラルルコトヲ得

- 三、代表委員ハ委員會ニ於テ自己ヲ代表セシムル爲代理者ヲ指名スルコトヲ得尤モ所屬代表團ノ承認ヲ得ヘキモノトス代表團カ委員會ニ於テ之ヲ代表セシムル爲國家ヲ指名シテ氏名ヲ指定セサリシ場合ニ於テハ代表委員ハ何時タリトモ其ノ顧問中ノ一名ヲ其ノ代理者ニ指名スルコトヲ得
- 四、各委員會ノ書記トシテ總會書記局ノ職員一名ヲ任命シテ其ノ事務ヲ掌ラシムヘシ右ノ者ハ委員會又ハ委員長ノ決定スヘキ職務ヲ執ルコトヲ要ス
- 五、委員會ノ會議ハ原則トシテ總會ノ本會議ト同時ニ之ヲ開クコトヲ得ス

ロ、詮衡委員會

- 一、總會ハ第六條ニ定ムル通各代表團ノ指名ニ係リ且政府代表團員十二名、使用者代表團員六名及勞働者代表團員六名ヨリ成ル詮衡委員會ヲ其ノ成立後直ニ選任スヘシ各代表團ニ於テ一國ハ一名以上ノ委員ヲ有スルコトヲ得ス
- 二、右委員會ハ總會ノ決定ヲ參酌シテ其ノ議事ノ順序ヲ定ムルヲ以テ其ノ主タル任務トス右ハ本會議ノ日及各會議ノ會議事項ヲ定メ且總會カ各會議ニ於テ何レノ決議ヲ討議スヘキヤヲ決定ス
- 三、右ハ又以下本條ニ定ムル通他ノ委員會ノ構成ヲ定ム
- ハ、資格審査委員會

一、總會ハ代表委員及顧問ノ委任狀ヲ審査スル爲委員會ヲ選任スヘシ該委員會ハ政府代表委員一名、使用者代表委員一名及勞働者代表委員一名ヲ以テ之ヲ組織ス右代表委員ノ氏名ハ詮衡委員會之ヲ總會ニ提議スルモノトス

二、該委員會ハ第三條ニ定ムル理事會長ノ報告中又ハ個人ノ抗議中ニ陳述セラルル事件ヲ審査シ且直ニ報告ヲ提出スヘシ

ニ、起草委員會

一、詮衡委員會ハ少クトモ三名ノ者ヨリ成ル起草委員會ヲ任命スヘシ右ノ者ハ代表委員又ハ顧問タルコトヲ要セス

二、起草委員會ハ總會ノ採擇スル決議ヲ條約案又ハ勸告ノ形式ニ起草スヘシ右委員會ハ書記局ノ翻譯

ニ係ル條約案又ハ勸告ノ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ノ間ニ一致ヲ保タシムヘシ

ホ、其ノ他ノ諸委員會

一、本條(ハ)及(ニ)ニ列舉スル委員會以外ノモノヲ設クルノ決定アリタルトキハ詮衡委員會ハ該委員會ヲ構成スヘキ員數ヲ定メタル上問題ノ委員會ニ付當該代表團ニ配當セラレタル議席ヨリ多數ノ氏名ヲ選擇ノ順序ニ從ヒ掲グル名簿表ヲ提供スルコトヲ各代表團ニ要求スヘシ

二、詮衡委員會ハ三代表團ノ提供ニ係ル名簿ヲ審査スヘク且該委員會ノ處理スヘキ事項ニ付一層適切ナルカ又ハ各國ニ對スル議席ノ配當ニ關シ一層満足ナル代表ヲ確保スル爲委員會ノ構成ニ修正ヲ加フルヲ可ナリト認メタルトキハ右ノ修正ヲ確保スルニカムヘシ尤モ之ニ出席セル代表團ノ代表者ノ承認ヲ得ルモノトス

三、代表委員又ハ所屬代表委員ヨリ當該委任狀ヲ受ケタル顧問ハ本項ニ定ムル諸委員會ノ會議ニ出席スルコトヲ得ヘク且表決權ヲ除キ委員會委員ノ充分ナル權利ヲ有スヘシ

第八條 總會議場入場ノ權利

一、總會ノ會議ハ明ニ反對ノ決定アリタル場合ヲ除クノ外之ヲ公開ス

二、公開ノ會議ニ於テハ總會書記局ハ著名ナル傍聽人及新聞記者ノ爲必要ナル設備ヲ設クヘシ

三、代表委員及顧問ノ外左ノ者ニ限り議席ニ就クコトヲ許可ス

(イ) 各代表毎ニ一名ノ書記又ハ通譯

(ロ) 總會ノ代表委員又ハ顧問ニ非サル労働理事會ニ於ケル代表者

(ハ) 國際労働事務局長及總會書記局職員

第九條 議長ノ職務

一、議長ハ會議ノ開會及閉會ヲ宣言スヘシ議長ハ會議事項ノ議事ニ入ルニ先チ總會ニ關スル通告ヲ之ニ提出スヘシ

二、議長ハ討論ヲ指揮シ秩序ヲ保持シ時宜ノ方法ニ依リ議事規則ノ遵守ヲ確保シ發言權ヲ許與シ又ハ之ヲ取消シ問題ヲ表決ニ付シ且表決ノ結果ヲ宣言ス

三、議長ハ討論ニ參加シ及表決ヲ爲スコトヲ得ス議長自ラ代表委員タルトキハ第十八條ノ規定ニ從ヒ代理者ヲ指名スルコトヲ得

四、議長或會議ニ於テ又ハ會議中司會スルヲ得サルトキハ副議長中ノ一名輪番ヲ以テ司會スルモノトス

五、議長ノ職務ヲ執ル副議長ハ議長ト同一ノ職權及職務ヲ有スルモノトス

第十條 發言權

一、代表委員ハ議長ノ許可ヲ要求シ且之ヲ得ルニ非サレハ發言スルコトヲ得ス

二、發言者ハ發言ノ請求ヲ表示シタル順序ニ依リ招呼セラルヘシ

三、代表委員ハ總會ノ特別許可アルニ非サレハ同一ノ動議、決議又ハ修正ニ付一回以上發言スルコトヲ得ス但シ動議、決議又ハ修正ノ發言者ハ第十四條ニ從ヒ討議終結ノ動議採擇セラレタルニ非サル

限リ二回發言スルノ權利ヲ有ス

- 四、發言者ノ言論カ討議中ノ事項以外ニ涉ルトキハ議長ハ其ノ復席ヲ之ニ要求スルコトヲ得
- 五、代表委員ハ何時タリトモ議事ノ進行ニ關シ質問ヲ提起スルコトヲ得右質問ハ議長議事規則ニ從ヒ之ヲ即決スヘシ

- 六、發言ハ總會ノ特別許可アルニ非サレハ翻譯ノ爲ニ要スル時間ヲ除キ十五分ヲ超ユルコトヲ得ス
- 七、議事妨害及他人ニ聞ユル談話ハ之ヲ許サス
- 八、總會ノ代表委員又ハ顧問ニ非サル勞働理事會員及國際勞働事務局長又ハ其ノ代表者ハ議長ノ招致アルトキハ發言スルコトヲ得

第十一條 用語

- 一、佛蘭西語及英吉利語ヲ以テ總會ノ公用語トス
- 二、佛蘭西語ヲ以テ爲シタル發言ハ其ノ要領ヲ英吉利語ニ又英吉利語ヲ以テ爲シタル發言ハ其ノ要領ヲ佛蘭西語ニ總會書記局附通譯之ヲ翻譯スヘシ
- 三、代表委員ハ自國語ヲ以テ發言スルコトヲ得ルモ右代表ハ公用語ニ對スル總會ノ通譯カ總會書記局ヨリ提供セラルル場合ヲ除キ其ノ隨員タル通譯ヲシテ其ノ發言ノ要領ヲ右二種ノ公用語ノ一ニ翻譯

セシムルノ準備アルヲ要ス右ノ要領翻譯ハ爾後書記局附通譯之ヲ他ノ公用語ニ翻譯スヘシ

- 四、文書ノ翻譯及配布ハ書記局之ヲ掌ル西班牙語文書ノ翻譯及配布ニ關シテハ華盛頓總會ニ於テ採擇セラレタル實例ニ倣フモノトス

第十二條 動議、決議及修正

- 一、代表委員ハ左ノ規則ニ從ヒ動議、決議又ハ修正ヲ發議スルコトヲ得
- 二、會議事項中ノ項目ニ關スル決議ハ少クトモ二日以前ニ於テ其ノ寫ヲ總會書記局ニ交付スルニ非サレハ總會ノ何レノ會議ニ於テモ之ヲ發議スルコトヲ得ス前記ニ依リ交付アリタル決議ハ書記局遅クトモ之ヲ接受シタル翌日之ヲ配布スヘシ
- 三、決議ニ對スル修正ハ豫告ヲ須キスシテ之ヲ發議スルコトヲ得但シ修正本文ノ寫ハ修正發議前ニ總會書記局ニ之ヲ交付スヘシ決議ニ對スル修正發議セラレタルトキハ該修正ニ關スル議事ノ終了スル迄ハ該修正ニ對スル再修正以外ノ修正ヲ發議スルコトヲ得ス修正ハ本決議ニ先チ之ヲ表決ニ付スヘシ
- 四、代表委員ハ其ノ發議シタル修正案ニ對スル再修正案ノ討議續行中ナルカ又ハ既ニ其ノ採擇ヲ經タルニ非サル限リ之ヲ撤回スルコトヲ得

五、議事手續ニ關スル動議ノ場合ニ於テハ豫告ヲ與フルヲ要セス又總會書記局ニ其ノ寫ヲ交付スルヲ要セス議事手續ニ關スル動議ハ再議ヲ求ムルノ動議、當該問題ノ審議ヲ延期スルノ動議、閉會ノ動議、特定ノ問題ニ關スル討論終結ノ動議、總會ヲシテ議事日程ノ次項ノ議事ニ入ラシムルノ動議ヲ包含ス

六、動議、決議及修正ハ賛成者アルニ非サル限り之ヲ討議スルコトヲ得ス
 七、以下定ムル場合ヲ除クノ外會議事項ノ項目ニ關スル決議以外ノモノハ總會開會期日前少クトモ七日ニ國際勞働事務局長ニ其ノ寫ヲ寄託スルニ非サレハ總會ノ何レノ會議ニ於テモ之ヲ發議スルコトヲ得ス右寄託セラレタル決議ハ國際勞働事務局總會開會期日前ニ之ヲ代表委員ニ配布スヘシ
 八、前記ノ規定ニ拘ラス議長ハ總會ノ他ノ役員ノ同意ヲ得タル上且之カ爲ニスル二十四時間ノ豫告ヲ與ヘタル後緊急事項又ハ全然形式的性質ヲ有スル事項ニ關スル決議ヲ總會ニ提出スルコトヲ得

第十三條 費用ヲ要スル提案

費用ヲ要スル動議又ハ決議ハ先ツ勞働理事會ニ之ヲ付託スヘク該理事會ハ其ノ財政委員會ト協議ノ上其ノ意見ヲ總會ニ通告スヘシ右ノ通告ハ當該動議又ハ決議ノ總會ニ依リ討議セラルル少クトモ二十四時間前ニ之ヲ代表委員ニ配布スヘシ

第十四條 討議ノ終結

一、代表委員ハ特定ノ決議若ハ修正又ハ一般ノ問題ニ關スル討議ノ終結ヲ發議スルコトヲ得
 二、議長ハ少クトモ三十名ノ代表委員カ討議終結ノ動議ニ賛成シタルトキハ之ヲ表決ニ付スヘシ尤モ之ヲ表決ニ付スルニ先チ議長ハ該終結ノ動議提出前ニ發言ノ要求ヲ表示シタル代表委員ノ氏名ヲ朗讀スヘキモノトス

三、議長ハ當該代表團ニ依リ任命セララル一名ノ發言者ヲシテ討議中ノ問題ニ關シ發言セシムルコトヲ右代表團議長ヲ經由シテ要求スル各代表團ニ既ニ該代表團ヲ代表スル發言者アリタルト否トヲ問ハス右ノ發言ヲ許可スヘシ

四、討論終結ニ反對スル發言ノ請求アルトキハ之ヲ許可スヘシ但シ一名ノ發言者ニ付五分ヲ超ユル發言ヲ許容スルコトヲ約ス

五、討論終結ノ表決アリタル後ニ於テハ何人モ當該問題ニ付發言スルコトヲ許容セラレサルヘシ尤モ前記諸項ニ從フモノトス

第十五條 表決

一、總會ハ舉手又ハ氏名點呼ニ依リ表決スヘシ

- 二、本規則カ氏名點呼ヲ要求セサル一切ノ場合ニ於テハ表決ハ舉手ニ依ル
 - 三、舉手ニ依ル表決ハ書記局之ヲ計算シ議長其ノ結果ヲ宣言ス
 - 四、右ノ結果ニ關シ疑アル場合ニ於テハ議長ハ氏名點呼ニ依ル表決ヲ採ルコトヲ得
 - 五、「ヴェルサイユ」條約第十三編ニ依リ三分ノ二ノ多數ノ表決ヲ必要トスル一切ノ場合ニ於テハ氏名點呼ニ依ル表決ヲ採ルモノトス
 - 六、二十名ヲ下ラサル代表委員書面ヲ以テ氏名點呼施行ノ要求ヲ爲シタルトキハ何レノ問題ニ付テモ亦之ヲ行フコトヲ得
 - 七、氏名點呼ニ依ル表決ハ國際勞動機關ノ締盟國名ノ佛蘭西語「アルファベット」ノ順序ニ從ヒ表決ニ加ハル各國代表ノ各代表委員ヲ點呼スルニ依リ之ヲ行フ
 - 八、氏名點呼ニ依ル表決ハ書記局之ヲ採リ議長其ノ結果ヲ宣言ス
 - 九、氏名點呼ニ依ル表決ニ加ハリタル代表委員ノ氏名ハ當該會議ノ速記録ニ之ヲ記載スヘシ
 - 一〇、本條第四項ニ定ムル場合ヲ除クノ外議長ハ氏名點呼ニ依ル表決ヲ採ルコトヲ得ス
- 第十六條 定足數
- 一、賛成及反對ノ表決ノ數カ總會ノ當該會議ノ爲正式ニ記録セラレ且表決權(第三百九十條第二項)

- ヲ有スル代表委員ノ半數ニ達セサルトキハ表決ハ「ヴェルサイユ」條約第四百三條ニ從ヒ之ヲ無効トス
- 右代表委員ノ數ハ第三條第二項ノ規定スル概要報告ノ提出アリタル後之ヲ決定スヘシ代表委員ニシテ其ノ資格ヲ最終ニ否認セラレタルモノアルトキハ其ノ以後ノ會議ニ付テハ之ニ從ヒ定足數ヲ訂正スルモノトス
- 二、舉手ノ表決ニ依リ定足數ヲ得サリシ場合ニ於テハ議長ハ直ニ氏名點呼ニ依リ表決ヲ採ルコトヲ得
- 議長ハ表決ノ必要アル際出席セル一代表團ノ十名ノ團員ヨリ氏名點呼ノ表決ノ要求アリタルトキハ右ノ要求ニ從フコトヲ要ス
- 第十七條 多數
- 氏名點呼ニ依リテ多數ヲ決定スル爲ニハ賛成及反對ノ凡テノ表決ヲ計算スヘク又總會ニ提出セラルル提案ハ其ノ採擇アルカ爲ニハ場合ニ應シ表決ノ過半數又ハ三分ノ二ノ多數ヲ必要トス
- 第十八條 代理者
- 一、代表委員ハ「ヴェルサイユ」條約第二百八十九條ニ從ヒ議長宛ノ通告書ニ依リ其ノ顧問ノ一名ヲ自己ノ代理者トシテ指名スルコトヲ得右通告書ハ會議中新ナル問題ノ討議ニ付セラルルニ非サル限リ之ヲ當該會議前ニ議長ニ提出スルコトヲ要ス該通告書ハ代理者カ代理ヲ爲スヘキ會議ヲ指定スル

コトヲ要ス

二、代理者ハ代表委員ト同一條件ノ下ニ討論ニ参加シ且表決スルコトヲ得

第十九條 速記録

一、速記録ハ各會議ヲ終リタルトキ書記局之ヲ印刷ニ付スヘシ該速記録中ニハ當該會議ニ於ケル出席代表委員ノ氏名表竝採擇セラレタル本文及表決ノ結果ヲ挿入スヘシ

二、各代表委員ハ速記録中自己ノ爲シタル發言ヲ登載シタル部分ノ訂正ヲ當該速記録ノ確定印刷ニ付セラルル前ニ要求スルノ權利ヲ有ス會議中演述ナカリシ演說又ハ其ノ一部分ハ之ヲ速記録ニ登載スルコトヲ得ス

三、申出アリタル訂正ハ會議ノ當日中ニ之ヲ書記局ニ交付スルニ非サレハ之ヲ登載セス

四、速記録ハ總會ノ議長及書記局長之ニ署名スヘシ

第二十條 國際勞働事務局ノ理事會ノ選任

一、總會ハ「ヴェルサイユ」條約第三百九十三條ニ從ヒ三年毎ニ其ノ會議中ニ於テ理事會ヲ選任スルノ手續ヲ履ムヘシ

二、右ノ目的ノ爲同條ニ定ムル主要産業國タル八締盟國ヲ除ク一切ノ締盟國ノ政府代表委員ハ會合ノ

上四締盟國ヲ選定スヘク該締盟國政府ハ勞働理事會ニ於ケル代表者ヲ指名スヘシ

三、使用者代表委員及勞働者代表委員ハ各別ニ會合ノ上勞働理事會ニ於ケル其ノ六名ノ代表者ヲ各選舉スヘシ右ノ選舉ニ於テハ代表者ノ氏名ヲ指示スヘキモノトス

四、使用者又ハ勞働者ノ代表者中ニ勞働理事會ニ於ケル闕員ヲ生シタル場合ニ於テ且該理事會カ「ヴェルサイユ」條約第三百九十三條ニ基ク闕員補充ノ方法ヲ定メサリシ場合ニ於テハ關係代表團ニ屬スル總會ノ代表委員ハ總會ノ次回會議中ニ會合シタル上其ノ闕員ヲ補充スヘシ

五、勞働理事會カ「ヴェルサイユ」條約第三百九十三條ニ從ヒ闕員補充ヲ定メタルトキハ理事會ノ之ニ付採リタル決定ハ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

六、右理事會ノ決定カ總會ノ承認ヲ得サリシ場合ニ於テハ本條第二項及第三項ノ規定ニ從ヒ新ナル選舉ヲ直ニ行フヘシ

第二十一條 代表團ノ議事規則

一、代表團ハ左記事項ヲ處理スル爲公式會合ヲ開催スルモノトス

(イ) 副議長ノ指名(第四條)

(ロ) 詮衡委員會ノ委員ノ指名(第七條(ロ))

(ハ) 其ノ他ノ委員會ノ委員ノ指名(第七條(ホ))

(ニ) 勞働理事會ノ選任(第二十條)

(ホ) 詮衡委員會又ハ總會ニ依リ代表團ニ付託セラルル事項

二、右公式會合中第一ノモノハ總會ノ開催後能ク限リ速ニ之ヲ開催スヘシ總會書記局ノ代表者ハ手續

ニ關シ代表團ニ報告スル爲當該代表團ノ希望アルトキハ右第一ノ會議ニ出席スヘク又代表團ハ右會

議ニ於テ其ノ議長、副議長及書記各一名ヲ選定スヘシ

議長及副議長ハ代表團ヲ構成スル代表委員及顧問ノ中ヨリ之ヲ選定スヘク書記ハ代表團以外ノ者ヨ

リ之ヲ選定スルコトヲ得

三、代表團ノ書記ハ其ノ公式會合ノ結果ヲ能ク限リ速ニ報告スヘシ

四、代表團ハ非公式事項ノ審議又ハ其ノ處理ノ爲何時タリトモ非公式會合ヲ開催スルコトヲ得

五、公式會合ニ於テ表決スル者ハ代表委員ニ限ル但シ代表委員ハ自ら出席スルコト能ハサルトキハ總

會議事規則第十八條ノ規定ニ從ヒ總會議長宛ノ通告書ニ依リ其ノ顧問ノ一名ヲ自己ノ代表者トシテ

指名スルコトヲ得

六、諸委員會ノ委員ノ指名ヲナスニ當リ政府代表團ハ左ノ手續ニ從フヘシ

詮衡委員會カ設置スヘキ委員會ノ數ニ付決定ヲナスヤ否ヤ各國政府代表委員ハ當該國政府カ何レノ
委員會ニ且如何ナル選擇ノ順位ニ於テ代表セラルルコトヲ希望スルヤヲ書面ヲ以テ代表團書記ニ通
告スヘシ

書記ハ次テ委員會毎ニ何レノ政府カ之ニ代表セラルルコトヲ希望スルヤヲ示シ且之カ選擇ノ順位ヲ
示セル名簿ヲ作成スヘシ該名簿ハ代表團委員ニ通達セラルヘシ

代表團ハ先ツ最多數ノ候補者アル委員會ノ委員ヲ指名スヘシ第一ノ委員會ノ委員ヲ指名シタル後爾
余ノ委員會ニ付テハ同様ノ原則ニ從フヘシ

第二十二條 選舉ニ於ケル表決ノ手續

一、委員會、理事會又ハ總會副議長ノ任命ニ付必要ナル選舉ニ於ケル表決ノ現實ノ手續ハ總會議長又
ハ其ノ指名スル者之ヲ管理ス右ノ者ハ表決權ヲ有スル代表委員ヲ適當ナル時ニ召集シ表決數ノ計算ノ
正否ヲ監視シ且選舉ノ結果ヲ總會ニ通告スルモノトス
二、勞働理事會ニ於ケル代表者ノ選舉ノ爲ニスル會合ニ付テハ少クトモ二十四時間ノ豫告ヲ與フヘ
シ

労働理事會ノ構成

千九百二十五年「ジュネーヴ」ニ於テ開催セラレタル第七回労働總會ニ於テ選任セラレタル労働理事會ノ構成左ノ如シ

(イ) 政府側代表

獨逸	白耳義
加奈陀	佛蘭西
英吉利	印度
伊太利	日本(以上主要産業八國)
西班牙	亞爾然丁
諾威	波蘭

(ロ) 使用者側代表

「リスゴ」(英國)	「ピノー」(佛國)
「オリヴェッチ」(伊國)	「カトリエ」(白耳義)

(ハ) 労働者側代表

「ホダッチ」(「チェッコ、スロヴァキア」)	「ゲムミル」(南阿)
「プールトン」(英國)	「ムーア」(加奈陀)
「ジューオー」(佛國)	「アウデゲースト」(和蘭)
「トールベルグ」(瑞典)	「ミューラー」(獨逸)
労働理事會長 佛國政府側代表	「アルチュール、フォンテーヌ」
労働事務局長	「アルベール、トーマ」
同 副局長	「エイチ、ビー、バトラ」

0178
41

6710
14

印 冊 卷

無 計 省 署 備 司

發 行 卷

無 計 省 署 備 司

印 味 四 半 二 月 十 八 日 發 行

印 味 四 半 二 月 十 五 日 印 冊



